2024.09.30

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原因	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
A202300087	2023/4/20	温水洗浄便座	ＴＣＦ９７６６	ＴＯＴＯ（株）	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：熊本県）		当該製品は、実時１００Ｖが通電されていた温風ヒーター用の内部配線が異常発熱し、周辺の樹脂が焼損したものと推定されるが、当該箇所の焼損が著しく、異常発熱した原因の特定には至らなかった。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2023-0156)	2023/5/8	01 家庭用電気製品
A202200698	2022/11/26	浴槽便座	ＣＨ５１	松下電工（株）（現　パナソニック　ハウジングソリューションズ（株））	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：長野県）		調査の結果、　○当該製品は、全体的に焼損しており、電源コードプロテクター部近傍が著しく焼損していた。○電源コードは本体側プロテクター部で芯線の一方の極が溶断し、もう一方の極に溶融痕が認められた。○ヒーター線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○電源コードの取り回し等の詳細な使用状況は確認できなかった。○当該製品は３３年間使用されていた。●当該製品は、電源コードプロテクター部で電源コードの芯線が半断線による異常発熱で短絡し、出火したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2022-1992)	2022/12/8	01 家庭用電気製品
A202200670	2022/11/21	温水洗浄便座	ＴＣＦ９７５Ｌ	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品から発煙する火災が発生した。（事故発生地：宮城県）		当該製品のコントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	--	東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2022-1933)	2022/12/2	01 家庭用電気製品
A202200622	2022/10/21	温水洗浄便座			11.火災	当該製品の電源コード部及び周辺を焼損する火災が発生した。（事故発生地：愛知県）		調査の結果、○当該製品は電源コードの一部が焼損し、本体背面の樹脂製外部の一部が溶融していた。○本体内部の電気部品に出火の痕跡は認められず、正常に動作した。○電源コードは、中間部で被覆の一部が焼損して芯線の一部が断線していた。○断線部に溶融痕は確認されなかったが、断線した芯線に一部捩じ曲りがあり、焼損していない部分に線青が認められた。●当該製品は、電源コード線の中間部で芯線が損傷して異常発熱したため、焼損したものと推定されるが、通常の使用において外力が加わる位置ではないことから、製品に起因しない事故と推定される。	--		経済産業省　非重大製品事故(2022-1841)	2022/11/11	01 家庭用電気製品
A202200527	2022/9/25	温水洗浄便座			11.火災	異臭がしたため確認すると、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生していた。（事故発生地：茨城県）		調査の結果、○当該製品の漏電保護プラグは、マルチタップを介して壁コンセントに横向きに接続されており、真上には当該製品への給水ホースの接続部及びタオルが位置していた。○当該製品の漏電保護プラグの樹脂製外部が焼損し、穴空きが生じていたが、本体及び電源コードに焼損等の異常は認められなかった。○漏電保護プラグ内部の基板は、ＡＣ１００Ｖが印加されていた銅箔パターンが焼失して、残存する部品のはんだ面が腐食し、プラグ栓刃の根元部分には線青が認められた。○当該製品の漏電保護プラグと同じ壁コンセントに接続されていた他社製品の電源コードの表面にはカビが認められた。●詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の漏電保護プラグ内部に水分浸入し、基板上でトラッキング現象が生じて異常発熱し、焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	--		経済産業省　非重大製品事故(2022-1666)	2022/10/5	01 家庭用電気製品
A202200461	2022/9/4	温水洗浄便座	ＴＣＦ４７１１	ＴＯＴＯ（株）	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：千葉県）		当該製品は、内部配線が短絡して異常発熱し、周囲の樹脂が焼損したものと推定されるが、当該箇所の焼損が著しく、短絡に至った原因の特定には至らなかった。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2022-1538)	2022/9/13	01 家庭用電気製品
A202200234	2022/6/19	温水洗浄便座	ＴＣＦ９６０	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品のコードから発煙する火災が発生した。（事故発生地：新潟県）		調査の結果、○使用者が便座を上げ、用を足していた際に、便座コードの便座側コードプロテクター端部付近から発煙した。○便座コード内のヒーターにつながる黒色リード線の芯線に断線及び溶融痕が、白色リード線にスパーク痕がそれぞれ認められた。○故障前から便座は温まらない症状があり故障していたが、そのまま使用を続けており、便座張房のスイッチも入ったままだった。○当該製品は製造終了から２１年以上経過した製品であった。●当該製品は、長期使用（２１年）により、便座コードのヒーターにつながる芯線が半断線したことによって異常発熱し、発煙に至ったものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	--	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2022-1033)	2022/6/29	01 家庭用電気製品
A202200186	2022/6/7	温水洗浄便座	ＴＣＦ９６５	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品から発煙する火災が発生した。（事故発生地：福島県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	--	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2022-0933)	2022/6/14	01 家庭用電気製品
A202200169	2022/5/29	温水洗浄便座	ＤＬ－ＡＷＭ６００	パナソニック（株）	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		当該製品は、制御基板上の被音防止用フィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2022-0908)	2022/6/8	01 家庭用電気製品
A202200008	2022/3/8	温水洗浄便座	ＴＣＦ９０３１ＨＧ	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	異臭がしたため確認すると、当該製品を汚損する火災が発生していた。（事故発生地：宮手県）		当該製品は、制御基板上の便器ヒーター用トライアックが異常発熱し、銅箔パターンに沿って延焼したものと推定されるが、トライアックの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定には至らなかった。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2022-0026)	2022/4/5	01 家庭用電気製品
A202100576	2021/10/20	温水洗浄便座	ＣＷ－Ｈ３３（（株）ＬＩＸＩＬブランド）	アイシン精機（株）（現　（株）アイシン）（（株）ＬＩＸＩＬブランド）	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：滋賀県）		当該製品は、内部の電気部品から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2021-2265)	2021/11/1	01 家庭用電気製品
A202100601	2021/7/26	温水洗浄便座			2.重傷	使用者が当製品を使用中、火傷を負った。（事故発生地：埼玉県）		調査の結果、○使用者は、約２時間当該製品の便座に座り、太もも裏等に低温火傷を負った。○当該製品の外観に傷、打痕、変形等の異常は認められなかった。○便座の表面温度に異常は認められなかった。●当該製品に異常が認められないことから、通電状態の便座に長時間着座していたため低温火傷を負ったものと推定される。　なお、当該製品の便座薄裏及び取扱説明書には、「長時間使用する時は便座温度を切にする。切以外の設定で長時間使用すると低温火傷のおそれがある。」旨、記載されている。	--		経済産業省　非重大製品事故(2021-2303)	2021/11/9	01 家庭用電気製品
A202100083	2021/4/18	温水洗浄便座	ＤＴ－５５２４Ｕ	（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：熊本県）		当該製品は、長期使用（１８年）により、制御基板のトライアック出力リードのはんだ接続部に接触不良が生じて異常発熱し、周辺基材が炭化して出火に至ったものと推定される。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2021-0361)	2021/4/28	01 家庭用電気製品
A202000751	2020/12/22	浴槽便座	ＴＣＦ６（ＴＯＴＯ（株）ブランド）	松下電器産業（株）（現　パナソニック（株））（ＴＯＴＯ（株）ブランド）	11.火災	異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。（事故発生地：千葉県）		調査の結果、○当該製品は、切替スイッチが便座よりも高い位置に設置され、本体側電源コードの長さに十分な余裕がなく、上方向に引っ張られた状態で使用されていた。○当該製品は右側後方の電源コードのブッシング部が著しく焼損し、近傍の樹脂製外部が焼損していた。○ブッシング部の電源コードは芯線が断線して先端に溶融痕が認められた。○残存していたヒーター線、サーモスタット及び電源プラグに出火の痕跡は認められなかった。○当該製品は３８年間使用されていた。●当該製品は、電源コードブッシング部で電源コードの芯線が半断線による異常発熱で短絡し、出火に至ったものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2020-1419)	2021/1/7	01 家庭用電気製品
A202000520	2020/10/12	温水洗浄便座	ＴＣＦ６１３１Ａ	ＴＯＴＯ（株）	11.火災	事業所で当該製品を溶融する火災が発生した。（事故発生地：静岡県）		当該製品は、メイン基板のヒーター制御用トライアックが短絡故障し、使用環境の影響でメイン基板とは別の温風ユニットで温度ヒューズを介さない導電経路が形成されて異常発熱し、周辺を焼損したものと推定されるが、トライアックが故障した原因の特定には至らなかった。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2020-1033)	2020/10/22	01 家庭用電気製品
A202000294	2020/7/15	温水洗浄便座	ＳＣＳ－Ｔ１６０	東芝ホームテクノ（株）	11.火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙する火災が発生した。（事故発生地：福島県）		当該製品は、基板電源コネクターはんだ付け部所にクラックが生じたため接触抵抗が大きくなり、長期にわたり発熱し続けた結果炭化し、焼損したものと推定される。	--	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。　なお、輸入事業者である東芝ホームテクノ（株）は、再発防止措置として、２０１１年１０月１３日より、コネクター浮き、傾き又は挿入状態確認工程を追加し実施している。	経済産業省　重大製品事故(2020-0559)	2020/7/28	01 家庭用電気製品
A202000186	2020/6/11	温水洗浄便座			11.火災	飲食店で当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		調査の結果、○当該製品は修理の予定があったが、修理をせず使用を継続していたほか、当該製品及び同時期同店舗に設置された同型式品には、破損を含む多くの修理履歴があった。○ケースカバー及び便蓋の一部が焼損して穴が空き、ケースカバーに取り付けられていた人体検知センサーが内部に脱落して便座開閉装置の一部が破損していた。○ケースカバー等の穴空き部分の直下に設置されていた便器洗浄バルブ用の流路切替モーター及びその基板が著しく焼損し、モーター用の５本のリード線が断線して１本の先端部に溶融痕が認められた。○リモコン受光基板、操作基板及び熱交換ユニットからアンモニアが検出され、それらのユニットの一部に腐食が認められた。○電源基板、制御基板、熱交換器ユニット、温風ユニット、電源コード等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○同型式品は、人体検知センサー及び電動開閉モーター部が破損した状態で使用されており、流路切替モーターの基板から塩素、硫黄及びアンモニアが検出された。○人体検知センサーが脱落した状態の同等品で散水試験を実施した結果、流路切替モーターの基板に水分が付着することを確認した。●当該製品は、人体検知センサーが内部に脱落したまま使用を継続したため、センサー取付け部の開口部から内部に汚水等が浸入し、流路切替モーターの基板に付着してトラッキング現象が生じ、出火したものと推定される。　　なお、取扱説明書には、「故障したまま使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。	--		経済産業省　非重大製品事故(2020-0369)	2020/6/22	01 家庭用電気製品
A202000172	2020/6/1	温水洗浄便座			11.火災	事業所で当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：神奈川県）		○当該製品は、便座上板に貼り付けられたヒーター線が焼損断線し、上板に焼損による直径約７ｍｍの穴が空いていた。○穴の直下の便座基板に大きな破損が生じ、破損した部分が便座上板のヒーター線を押し潰す状態となっていた。○ヒーター線の焼損断線部等からアンモニア臭素の反応が認められた。●当該製品は、便座部に繰り返し応力が加わり、使用に伴い底板が割れていたもので、継続使用したため、割れた底板が内部のヒーター線を押し潰して断線し、更に、液体が浸入して導通が継続したことで、近傍の樹脂が焼損したものと推定される。なお、取扱説明書には、「製品にひびや割れが入っている状態で使い続けない。」旨、記載されている。	E１		経済産業省　非重大製品事故(2020-0340)	2020/6/15	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原因	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
A201901201	2020/2/20	温水洗浄便座	ＱＷ－３０２ＰＩ－Ｈ（（株）クラシアンブランド）	（株）Ｄｅｔｏ（（株）クラシアンブランド）	11.火災	避難施設で当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：秋田県）		調査の結果、○本体から便座ユニット及び便ふたにかけて焼損していた。○本体はカバーが焼失し、メイン基板周辺の焼損が著しかった。○便座ユニット及び便ふたは本体メイン基板取付け部の焼損が著しく、一部焼失していた。○メイン基板の焼損は著しいが、基板は原型をとどめており、部品に破損や短絡は認められなかった。○電源コードとメイン基板への接続コネクターに異常は認められなかった。○その他残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は、残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2019-2323)	2020/3/4	01 家庭用電気製品
2019-2119	2020/1/21	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座付近から発煙し、焼損した。（事故発生地：大阪府）	不明	事故品の電気部品に出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	Ｆ２	輸入事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関	2020/2/4	01 家庭用電気製品
A201901008	2019/12/22	温水洗浄便座	ＣＨ１３０１ＷＳ	パナソニック（株）	11.火災	当該製品を溶融し、周辺を焼損する火災が発生した。（事故発生地：福岡県）		調査の結果、○当該製品の焼損は著しく、ほぼ原形をとどめていない状態であった。○ヒータ線は断線しており、一部のヒータ線は確認できなかったが、断線部に溶融痕は認められなかった。○便座を開閉する２つのモーターのうちの１つと、操作基板等の電気部品は確認できなかった。○制御基板、乾燥装置部、イオン発生部等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○電源コードおよび制御基板への接続コネクターに異常は認められなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2019-1995)	2020/1/14	01 家庭用電気製品
A201900927	2019/11/25	温水洗浄便座	ＣＨ７０５Ｓ	松下電工（株）（現　パナソニック（株））	11.火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。（事故発生地：秋田県）		当該製品は、内部の電源コードは制御基板から出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2019-1841)	2019/12/12	01 家庭用電気製品
A201900607	2019/10/2	温水洗浄便座	ＴＣＦ９７５	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：岡山県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクタ－部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板とのはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2019-1343)	2019/10/15	01 家庭用電気製品
A201900654	2019/9/21	温水洗浄便座	ＴＣＦ９７５Ｌ	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品から発煙する火災が発生した。（事故発生地：大阪府）		当該製品は、長期使用（２０年）により、流調ユニットから漏水が発生し、濡れた水がドライバー基板に掛かり、抵抗値不良が発生したことでコントロール基板の降圧回路が過負荷となって異常発熱したものと推定される。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2019-1290)	2019/10/21	01 家庭用電気製品
A201900323	2019/7/20	温水洗浄便座	ＴＣＦ４７３１	ＴＯＴＯ（株）	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：山梨県）		当該製品のノズルユニットのノズル駆動用モーター付近から出火したものと推定されるが、ノズルユニットの焼損は著しく、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2019-0825)	2019/7/31	01 家庭用電気製品
A201900313	2019/7/19	温水洗浄便座	ＴＣ４０１	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		当該製品は、温水用手動復帰型サーモスタットに防水及び防滴対策が施されていなかったことから、長期使用（３８年）により洗浄用温水管の継ナットから漏水したため接点が開いた状態のサーモスタット端子部に掛かり、絶縁性能が低下して異常発熱し、出火に至ったものと推定されるが、使用者が異常を認識した状態で使用を続けたことも事故発生に影響したものと考えられる。	－－	再発防止措置として、東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、温水洗浄便座の修理でお客様宅へ訪問した際、古いタイプの製品をご使用の場合、あるいは既に部品の供給が終了し修理が出来ない場合においても、業界団体（日本レストルーム工業会）で作成している安全啓発ちらしをお渡し、注意事項の伝達や使用中止をお願いするとともに、長期使用の製品に対して「点検」もしくは「お買い替え」を提案する対応を実施している。また、安全啓発チラシを、全国のショールームに準備するとともに、チラシ内容をホームページや取扱説明書に掲載するなどの安	経済産業省　重大製品事故(2019-0818)	2019/7/29	01 家庭用電気製品
2019-0124	2019/4/2	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座に亀裂が入り、一部が焦げていた。（事故発生地：和歌山県）	不明	事故品の便座（ＡＢＳ樹脂製）は、衝撃荷重によるものとみられる亀裂が生じた状態で継続使用されたため、亀裂部付近のヒーター線に応力が集中して断線し、スパークが発生したことにより周囲の樹脂が焦げたものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者	2019/4/17	01 家庭用電気製品
A201900061	2019/3/29	温水洗浄便座	ＴＣＦ４１３１	ＴＯＴＯ（株）	11.火災	異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。（事故発生地：岡山県）		調査の結果、○当該製品は、本体中央部が焼損しており、基板、電気部品等を内蔵した樹脂製外装、便座及び便蓋付近が焼損及び溶融していた。○樹脂製外装内にあるＡＣコントローラー基板のコネクターピン間でトラッキング現象の痕跡が認められたが、焼損が著しく、はんだ付け状態は確認できなかった。○樹脂製外装の内外で炭等の成分が確認されたが、基板に接続されたコネクター樹脂及びケーブル被覆は著しく焼損しており、製品内部に浸入した液体がコネクター部に到達したか否かは確認できなかった。○当該製品内部の漏水箇所は特定できなかった。○当該製品は１４年前に設置し、２～３年前から複数の機能に不具合が生じていたが、修理せずに使用し続けていた。●当該製品の内部基板において、コネクターピン間でトラッキング現象が発生し、出火したものと推定されるが、基板、コネクター樹脂及びコネクターケーブル被覆の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2019-0059)	2019/4/22	01 家庭用電気製品
A201800834	2019/3/20	温水洗浄便座	ＤＴ－５８２３Ｕ	（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：愛知県）		当該製品は、制御基板上でトラッキング現象が発生したため、出火したものと推定されるが、制御基板の焼損が著しく、トラッキング現象が生じた原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2019-0024)	2019/3/29	01 家庭用電気製品
A201800744	2019/2/14	温水洗浄便座	ＴＣＦ９６５	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：大阪府）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクタ－部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板とのはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2018-1910)	2019/2/25	01 家庭用電気製品
2018-1900	2019/1/19	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	4.拡大被害	温水洗浄便座から発煙した。（事故発生地：広島県）	約19年	温水洗浄便座のコントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクタ－部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	製造事業者は、２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2019/2/20	01 家庭用電気製品
2018-1717	2018/12/27	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＶ－２１８	（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）	5.製品破損	使用中の温水洗浄便座から火が出た。（事故発生地：茨城県）	約13年	温水ヒーターユニットに配線の接続不良がある不具合品が混入したため、接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	Ａ３	製造事業者は、今回の事故及び過去の同種事故はいずれも絶縁材料の使用により発熱部周辺の焼損にとどまり、拡大被害に至っていないことから、既販品に対する措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者	2019/1/23	01 家庭用電気製品
A201800742	2018/11/9	簡易便座			2.重傷	施設で使用者（８０歳代）が当該製品を使用中、低温火傷を負った。（事故発生地：大阪府）		○使用者は、トイレで当該製品へ約３０分間着座して用を足し、約７時間経過後に臀部の低温火傷に気が付いた。○当該製品は、ふだん温度調節つまみが「中」の位置で使用されていたが、事故発生時は「高」の位置になっていた。○当該製品は、施設で使用されていたものであるが、温度調節つまみの位置は管理されていなかった。○外観に変形、破損及び異常発熱の痕跡は認められなかった。○温度調節つまみを「高」の位置にして室温２２℃で温度測定を実施した結果、最高温度は４０．５℃であり、設計値（４０．０±３℃）の範囲内であった。○サーモスタットの電気抵抗値は、規格値を満たしていた。●当該製品に異常は認められないことから、温度調節つまみが「高」の位置で長時間着座していたため低温火傷に至ったものと考えられ、温度調節つまみの管理が不十分であったものと推定される。なお、取扱説明書及び本体表示には、低温火傷のおそれがあるため、「お年寄り、病気の方等が使用するときは、温度調節つまみを「弱」にするなど周囲の方が十分注意する。」旨、警告表示されている。	Ｄ１		経済産業省　非重大製品事故(2018-1959)	2019/2/25	01 家庭用電気製品
A201800319	2018/8/17	温水洗浄便座	ＤＶ－１１５Ａ	（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）	11.火災	当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		当該製品は長期使用（１４年）により整流ダイオードと基板との間でトラッキング現象が発生したため、防湿用のポッティング材が焼損に至ったものと推定されるが、ポッティング部分が焼失し確認できないことから、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2018-0858)	2018/8/30	01 家庭用電気製品
2018-1270	2018/7/18	簡易便座【電気便座】			4.拡大被害	簡易便座から出火し、周辺を焼損した。（事故発生地：奈良県）	不明	電源コードに溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕か特定できず、焼損が著しく、全ての電気部品を確認できなかったことから、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関	2018/11/8	01 家庭用電気製品
A201800150	2018/6/4	温水洗浄便座	ＤＶ－１１３Ａ	（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）	11.火災	当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		当該製品は、電源基板上の電界効果トランジスタ－が短絡故障したため、基板に過電流が流れて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、短絡故障した原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2018-0421)	2018/6/18	01 家庭用電気製品
A201800828	2018/4/25	温水洗浄便座	ＴＣＦ９５６３Ｒ	ＴＯＴＯ（株）	11.火災	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。（事故発生地：山口県）		調査の結果、○当該製品の焼損に気付いた客が従業員に連絡し、従業員がぬれた布をかぶせて消火した。○当該製品は、電装部を覆うケースカバーが著しく焼損しており、カバー上面中央部は背面側にわたってカバー樹脂が焼失しており、電装部が露出していた。○ケースカバー内の電装部は中央の焼損が著しく、当該箇所に紙類と考えられる焼損物の残存が認められた。○電装部中央は低電圧で動作する洗浄ノズル駆動用モーターが配置されていたが、その他に出火元となり得る電気部品は配置されていなかった。○当該製品は事故発生後に廃棄されたため、詳細について確認ができなかった。○トイレ内に設置されていたトイレ入出監視カメラの確認の結果、事故発生の３０分前から人の出入りはなかった。●当該製品は、ケースカバー上面中央部付近から出火に至ったものと考えられるが、当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2019-0020)	2019/3/28	01 家庭用電気製品
2017-1923	2017/12/28	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＶ－２１８	（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）	5.製品破損	使用中の温水洗浄便座から火が出た。（事故発生地：兵庫県）	約12年	温水ヒーターユニットに配線の接続不良がある不具合品が混入したため、接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	Ａ３	製造事業者は、他に同種事故発生の情報はないことから、既販品に対する措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者	2018/1/16	01 家庭用電気製品
A201700522	2017/10/20	温水洗浄便座	ＴＣＦ９６５Ｙ	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：北海道）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクタ－部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板とのはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2017-1593)	2017/11/24	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
2017-1399	2017/9/21	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９６５Ｌ	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	5.製品破損	温水洗浄便座からの異臭がし、発煙した。（事故発生地：京都府）	約15年	温水洗浄便座のコントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異臭間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	製造事業者は、２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	消防機関	2017/10/17	01 家庭用電気製品
A201700340	2017/8/25	温水洗浄便座			11.火災	事業所で当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		○当該製品は、便座内面に貼り付けたヒーター線が断線しており、断線箇所の便座上板に焦げ穴が空いていた。○便座基板内面の脚ゴム取付部の一部に、ヒーター線との圧接による溶融痕が認められた。○便座は上板と基板の溶着部がはがれており、基板は脚ゴムが近で剥れていた。○ヒーター線の断線部及び脚ゴム取付部の焦げた箇所から炭素反応が検出された。○当該製品の便座と当該事業者製の便器の縁面は適合しておらず、着座すると便座脚ゴムが便器の縁面からずれ落ちる状態であった。○取扱説明書及び施工説明書には便座と便器の形状の不適合に関する注意表示は記載されていなかった。○当該事故が発生した施設では、過去に当該製品と同一事象の事故が発生しており、原因が判明していたが、便座と便器の形状が不適合である製品を改修せず継続使用されていた。●当該製品は、形状の適合していない同社製便器に設置されたため、着座時に当該製品の脚ゴムが便器の縁面から脱落し、直接便器と接触して便座溶着部がはがれ、さらにそのまま継続使用されたため、便座の内部ヒーター線が損傷、断線してスパーク、異常発熱が生じて事故に至ったものと考えられ、過去に同一事象の事故が発生し、原因が判明していたにもかかわらず、改修をせずに継続使用されたため、事故に至ったものと推定される。	Ｅ１		経済産業省　非重大製品事故(2017-1158)	2017/9/8	01 家庭用電気製品
A201700282	2017/8/1	温水洗浄便座	ＣＨ６７２ＳＰＦ	松下電工（株）（現　パナソニック（株））	2.重傷	当該製品を使用中、火傷を負った。（事故発生地：兵庫県）		当該製品は、長期使用（１６年）により、温水サーミスターと高温検知用スイッチが故障したため、温水タンク内の水温が上昇し、使用時に洗浄ノズルから噴出した熱水で熱傷を負ったものと推定される。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2017-0982)	2017/8/10	01 家庭用電気製品
A201700228	2017/7/8	温水洗浄便座	ＴＣＦ４０１１Ｒ	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：三重県）		当該製品は、電源基板の電源入力部で、トラッキング現象が生じて出火したものと推定されるが、基板の焼損が著しく、トラッキング現象が生じた原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2017-0693)	2017/7/21	01 家庭用電気製品
A201700034	2017/4/5	温水洗浄便座	ＴＣＦ９７０	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生し、２名が軽傷を負った。（事故発生地：静岡県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2017-0114)	2017/4/17	01 家庭用電気製品
2016-2375	2017/2/27	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			3.軽傷	温水洗浄便座付近から出火して、周辺を焼損し、家人１人が火傷を負った。（事故発生地：兵庫県）	約5年5月	事故品の電気部品に出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	Ｆ２	製造事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関	2017/3/10	01 家庭用電気製品
A201600718	2017/2/14	温水洗浄便座			11.火災	店舗で当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：長野県）		○当該製品は、便座後方部に焦げ及び穴空きが認められ、当該箇所の便座内部でヒーター線が断線していた。○当該製品の便座側面の便座コードブッシュ部が青く変色していた。○便座内部は、便座コードブッシュ部から後方部にかけて、塩素を含む強酸性の液体が浸入し付着しており、ヒーター線断線部付近を含めて一部のヒーター線被覆は変色し硬化し、ヒーター線を接着しているアルミ箔が異常に腐食していた。○ヒーター線被覆の変色は内部にまで達しており、抵抗線表面が腐食し、塩素が検出された。○事故現場に設置された同一製品についても、当該製品と同様に便座側面の便座コードブッシュ部が青く変色しており、便座後方部の便座内部に液体が浸入し付着した痕跡が認められた。○当該製品は店舗に設置され、従業員が１日１回、酸性の洗浄剤を使用して清掃していた。●当該製品は、便座内部から塩素を含む強酸性の洗剤が検出されたことから、過度な清掃方法により洗剤が浸入するとともに、便座着座時の繰り返し応力によりヒーター線が断線し、事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「洗浄ノズルや、本体等のプラスチック部分の手入れをするときは、薄めた台所用洗剤（中性）を使用し、トイレ用洗剤、住宅用洗剤等は使用しない。」旨、記載されている。	Ｅ２		経済産業省　非重大製品事故(2016-2299)	2017/2/24	01 家庭用電気製品
A201600711	2017/2/14	温水洗浄便座	ＣＷ－Ｈ１１１（（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）ブランド）	アイシン精機（株）（（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）ブランド）	11.火災	事業所で当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		当該製品の制御基板上において、電源コードを接続するコネクターのはんだ付け部に不良があったため、接続不良により異常発熱し、基板の一部を焼損したものと推定されるが、はんだ付け部分が焼失していたため、接続不良が発生した原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2016-2294)	2017/2/23	01 家庭用電気製品
A201600653	2017/1/21	温水洗浄便座	ＴＣＦ９６５	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：福岡県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2016-2125)	2017/2/3	01 家庭用電気製品
A201600572	2016/12/26	温水洗浄便座	ＴＣＦ９７０	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：福島県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2016-1925)	2017/1/10	01 家庭用電気製品
2016-1282	2016/9/8	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			3.軽傷	温水洗浄便座の温風乾燥を使用したところ、臀部に火傷を負った。（事故発生地：神奈川県）	不明	温風乾燥の温風熱によって火傷を負ったものと考えられるが、事故品は正常に動作し、温風温度に異常は認められず、事故当時の詳細な使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。	製造事業者	2016/10/5	01 家庭用電気製品
A201600267	2016/8/11	温水洗浄便座	ＴＣＦ９６５Ｌ	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：兵庫県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器（株）（現ＴＯＴＯ（株））は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2016-1035)	2016/8/22	01 家庭用電気製品
2016-1015	2016/6/30	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＴＣＦ７３１	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、発煙した。（事故発生地：広島県）	約17年10月	温水用熱交換器から漏水したため、被水によりＤＣ基板上の抵抗が異常発熱し、周辺の樹脂部品が焦げたものと推定されるが、漏水した原因の特定はできなかった。	Ｇ３	製造事業者は、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。	その他	2016/8/22	01 家庭用電気製品
2016-0784	2016/6/12	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＡＸ５０Ｓ－Ｅ（ブランド：横水化学工業（株））	日立化成工業（株）（現　（株）ハウステック）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。（事故発生地：愛知県）	約15年9月	長期使用（約１５年９ヶ月）により、便座コードに屈曲ストレス等が加わって半断線が生じ、発熱・発煙したものと推定される。	Ｃ１	製造事業者は、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。	製造事業者	2016/7/19	01 家庭用電気製品
2015-2618	2016/2/9	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			3.軽傷	温水洗浄便座付近から出火して、住宅１棟を全焼し、隣接する建物４棟を焼損して、家人１人が軽傷を負った。（事故発生地：愛知県）	約27年	確認できた電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、電源基板等の確認できない部品もあることから、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関	2016/2/24	01 家庭用電気製品
A201500500	2015/11/4	温水洗浄便座	ＤＴ－５８２３Ｕ	（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）	11.火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。		調査の結果、当該製品は、止水弁フタが酸化劣化によって樹脂強度が低下したことにより亀裂が生じ、亀裂から漏れた水が電磁弁端子部に掛かり、電磁弁端子間の抵抗値がトラッキング現象により低下し、コントロール基板のトライアックに通電流が流れて異常発熱し、発火に至ったものと推定される。	－－	当省は製造事業者である（株）ＬＩＸＩＬに対して、再発防止措置の検討を要請し、同社としては、２０１６年１２月時点で、事故同等品を市場回収して調査を行う予定である。また、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、同社の調査を踏まえ、必要に応じて対応を行うこととする。（２０１６年１２月更新）上記調査の結果、（株）ＬＩＸＩＬとしては事故再発の可能性は低いと考えるが、２０１７年４月より同社の自主製品保守提進制度「ＩＮＡＸＮＥＸＴプログラム」を拡充することで、製品安全対策を講じる予定である。（２０１７年４	経済産業省　重大製品事故(2015-1777)	2015/11/13	01 家庭用電気製品
A201500555	2015/10/9	暖房便座			2.重傷	施設で使用者が当該製品を使用したところ、火傷を負った。（事故発生地：北海道）		○施設では、常時、当該製品の温度調節スイッチつまみを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いていた。○事故発生時に入居者に付き添っていた職員は、便座の状態を確認せずに入居者に使用させていた。○入居者は、約２０分間当該便座に座り、臀部、太もも、鼠蹊等に低温火傷を負った。○事故発生後に施設の職員が確認したところ、便座は通電された状態であった。○当該製品の外観は、温度調節スイッチつまみ及び便フタが取り外されていたものの、キズ、打痕、変形等の異常は認められなかった。○温度調節位置を「低」及び「高」の状態で通電し、便座表面温度を測定したところ、異常な温度上昇は認められなかった。○制御基板、ヒーター線及びサーミスタに異常は認められなかった。●当該製品に異常が認められないことから、通電状態の便座に長時間着座していたため低温火傷を負ったものと考えられ、温度調整スイッチの管理及び使用時の注意が不十分であったものと推定される。なお、取扱説明書には、「長時間使用した場合に低温火傷の恐れがあるため、お年寄り、病気の方、自分で温度調節のできない方等は、周りの方が便座温度を「切」にする。」旨、記載されている。	Ｅ２		経済産業省　非重大製品事故(2015-2034)	2015/12/8	01 家庭用電気製品
A201500217	2015/6/19	温水洗浄便座	ＴＣＦ４０３１	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：埼玉県）		当該製品は、制御基板上の電源コネクターで、何らかの要因により、接触不良が生じ、異常発熱して焼損に至ったものと推定される。接触不良の要因としては、はんだ付け不良などが推定されるが、出火部の焼損が著しいため、原因の特定には至らなかった。また、使用者が故障を修理せず使用していたことも事故の発生に影響したものと推定される。なお、取扱説明書には「故障かなと思ったら、記載の処置方法を試し、それでも直らないときは取付け店・販売店等に相談する。」旨、記載されている。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2015-0718)	2015/7/2	01 家庭用電気製品
A201500173	2015/5/21	暖房便座	ＴＣＦ７（ＴＯＴＯ株式会社ブランド）	松下電器産業（株）（現　パナソニック（株））（ＴＯＴＯ（株）ブランド）	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：静岡県）		当該製品は長期使用（約３０年）により、便座の電源コードプロテクター部に便座開閉による屈曲ストレス等が繰り返し加わり、電源コードが断線、スパークして火災に至ったものと推定される。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2015-0551)	2015/6/12	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原因	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
2015-0284	2015/3/31	暖房便座【電気便座】			3.軽傷	暖房便座を使用していたところ、低温火傷を負った。（事故発生地：石川県）	約15年9月	便座の表面温度に異常は認められず、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	G１	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者	2015/5/18	01 家庭用電気製品
A201500063	2015/3/19	暖房便座			2.重傷	施設で使用者（８０歳代）が当該製品を使用中、低温火傷を負った。（事故発生地：宮崎県）		○当該施設では、通常、暖房便座の温度調節つまみは「弱」に設定され、変更できないようにテープで固定されており、テープが外れて「強」の設定となっていた。○当該製品の温度調節スイッチが「強」の状態で２６分間着座していた。○当該製品は運転可能な状態であり、熱変形等の異常は認められなかった。○当該製品の表面温度は仕様の範囲内であり、異常は認められなかった。●当該製品に異常は認められないことから、当該製品に強の状態で長時間着座していたため低温火傷を負ったものと推定される。なお、当該製品本体には、「低温火傷に注意する。」、「長時間お使いになるときはスイッチを切る。」、「お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方は、着座後便座スイッチを切って使用する」旨、記載されている。	E２		経済産業省　非重大製品事故(2015-0171)	2015/4/22	01 家庭用電気製品
A201400831	2015/3/5	温水洗浄便座	ＣＷ－Ｊ１１１（（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）ブランド）	アイシン精機（株）（（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）ブランド）	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：愛知県）		当該製品は、中継基板にはんだ付け不良があったため、はんだ割れによる異常発熱により、周囲の基板が炭化して銅箔パターン間でトラッキング現象が生じ、火災に至ったものと推定される。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2014-2853)	2015/3/12	01 家庭用電気製品
A201500098	2015/3/1	温水洗浄便座			2.重傷	使用者が当該製品を使用中、低温火傷を負った。（事故発生地：愛知県）		○使用者は、肌が弱いが寒がりのため、事故当時、便座温度を「高」で使用していた。○当該製品の外観に焦げ等の異常は認められなかった。○電気部品に異常は認められず、洗浄・温水・暖房便座機能は正常に作動した。○便座の表面温度に異常は認められなかった。○メイズ試験で調査作法は生じなかった。●当該製品の使用状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。なお、使ふた の内側には、「お年寄りは便座スイッチを「低」または「切」にする。」旨、取扱説明書には、「お年寄り、病気の方、皮膚の弱い方が使用する際は、便座スイッチを「低」、または「切」にする。長時間使用する低温火傷をおこす恐れがある。」旨、記載されている。	F２		経済産業省　非重大製品事故(2015-0273)	2015/5/11	01 家庭用電気製品
A201500020	2015/2/21	暖房便座			2.重傷	当該製品を使用中、低温火傷を負った。（事故発生地：福岡県）		○事故発生時、使用者は４時間以上着座状態であった。○当該製品の便座温度調節機能は正常であった。○製品内部の電気部品に異常は認められなかった。●当該製品の電気部品等に異常はみられず、便座温度測定においても異常温度にはならなかったことから、便座の上に４時間以上の長時間着座していたため、低温火傷を負ったものと推定される。なお、取扱説明書には「長時間使用すると、低温ヤケドをおこす恐れがある。」旨、記載されている。	E２		経済産業省　非重大製品事故(2015-0074)	2015/4/7	01 家庭用電気製品
2014-1775	2014/10/22	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座から異音がし、発煙した。（事故発生地：兵庫県）	不明	便座の上板と便座の溶着部に隙間が生じたため、尿が浸入して便座コード内部を経由し、コネクター部の絶縁性が低下したことから、短絡して発煙したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、隙間が生じた原因の特定はできなかった。	G１	製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。	製造事業者	2014/11/14	01 家庭用電気製品
A201400463	2014/10/20	温水洗浄便座	ＴＣＦ９４０	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：神奈川県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部にメッキ不良があり、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが割れてコネクター部分が接触不良となり発熱し、その影響により、コントローラー基板上のはんだ付け部にはんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2014-1690)	2014/10/30	01 家庭用電気製品
2014-1329	2014/9/6	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＨ６３３Ｓ	松下電工（株）（現　パナソニック（株））	3.軽傷	使用中の温水洗浄便座から熱湯が出て、幼児が火傷を負った。（事故発生地：埼玉県）	約14年	温水用サーミスターのコネクター部で接触不良が生じたため、温水ヒーターが連続通電し、保護装置（自動復帰式の高温検知センサー）が作動した状態で、使用者が熱いと認識したまま使用を継続したことから、保護装置が故障して熱湯が放出され、火傷を負ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「洗浄ジャワーが熱い等、故障したら使用を中止する、やけどの原因となる等」旨、記載されていなかった。	Ｂ４	製造事業者は、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター	2014/9/19	01 家庭用電気製品
A201400345	2014/8/29	温水洗浄便座	ＴＣＦ９７５	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品から発煙する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		当該製品は、便座・便蓋開閉制御用基板上のモータードライバーＩＣの隣接リード端子間で絶縁不良が生じたため短絡して、便座・便蓋開閉制御用基板及びコントローラー基板が異常発熱し、発煙したものと考えるが、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2014-1356)	2014/9/9	01 家庭用電気製品
A201400297	2014/8/9	温水洗浄便座	ＴＣＦ４１１１	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：岐阜県）		当該製品は、便座コードの断線部に尿等の異物が付着したことにより、発熱し出火に至ったと推定されるが、便座コードが断線した原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2014-1230)	2014/8/22	01 家庭用電気製品
A201400275	2014/8/3	温水洗浄便座	ＣＷ－１００（（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）ブランド）	アイシン精機（株）（（株）ＩＮＡＸ（現　ＬＩＸＩＬ）ブランド）	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。		当該製品は長期間使用されていた便座電気コードが断線したことにより出火に至ったものであるが、便座電気コードが断線に至った原因については特定されていない。	－－	アイシン精機株式会社は、当該製品を含む対象機種について、同社が直接販売した製品については、平成２０年１１月２６日にプレスリリースを行い、平成２０年１２月３日に新聞広告を掲載し、使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。また、販売事業者である株式会社ＩＮＡＸ（現株式会社ＬＩＸＩＬ）においては、平成２０年１１月２６日にプレス公表を行い、平成２０年１１月２７日に新聞広告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具	経済産業省　重大製品事故(2014-1149)	2014/8/8	01 家庭用電気製品
A201400213	2014/7/1	温水洗浄便座	ＴＣＦ４０１	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。（事故発生地：広島県）		当該製品は、長期使用（約３０年）により製品内部の給水管接続部から漏水した状態で、使用を継続したことにより、温水バイメタルスイッチの電極間が絶縁劣化して異常発熱が生じ出火に至ったものと推定される。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2014-0860)	2014/7/11	01 家庭用電気製品
2014-0458	2014/5/4	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			4.拡大被害	温水洗浄便座から発煙し、電源プラグ付近が焼損した。（事故発生地：広島県）	約15年8月	プラグ及びコンセントに尿等の異物が付着したため、腐食してプラグ刃と刃受けとの間で接触不良が生じ、異常発熱して樹脂部が焼損したものと推定される。なお、取扱説明書には、「本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけない。火災や感電のおそれがある。」旨、記載されている。	E２	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2014/5/22	01 家庭用電気製品
A201300755	2014/1/20	温水洗浄便座	ＴＣＦ５８１ＭＲＶ６ＰＡ	ＴＯＴＯ（株）	11.火災	当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		調査の結果、当該製品は、販売カタログの購入前の確認事項、取扱説明書及び施工説明書に同社製便器に関しての注意表示がなく、形状の合っていない同社製便器に設置されたため、着座時に当該製品の脚ゴムが便器の縁面から脱落し、直に便器と接触して便座溶着部が割れ、更にそのまま継続使用されたため、便座の内部ヒーター線が損傷、断線してスパーク、異常発熱が生じて、事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「製品にヒビや割れが入っている等故障したまま使い続けると火災の原因になる。」旨記載されている。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2013-3670)	2014/1/30	01 家庭用電気製品
A201300699	2013/12/30	温水洗浄便座	ＴＣＦ９６５ＬＹＧ	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	異音がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。（事故発生地：北海道）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、部品メーカーにより特定期間内に製造したコネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動により、メッキが割れてコネクター部分が接触不良となり発熱した。その影響によりコントローラー基板上のはんだ付け部に、はんだクラックが生じ絶縁不良となり、異極間でスパークし、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2013-3465)	2014/1/16	01 家庭用電気製品
2014-2136	2013/12/30	暖房便座【電気便座】	ＫＡ２９－６９６６	コーナン商事（株）	5.製品破損	暖房便座の電源コードの本体側付け根部分から火が出た。（事故発生地：和歌山県）	約7月	電源コードの絶縁被覆の絶縁性が低下したことから、短絡が生じて発火したものと推定されるが、絶縁性が低下した原因の特定はできなかった。	Ｇ３	輸入事業者は、事故原因が不明であるが、２０１４（平成２６）年５月１９日付けで電気用品安全法の遵守事項の不備があったため、製品の自主回収を行っている。	輸入事業者	2014/12/26	01 家庭用電気製品
2013-2612	2013/12/13	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			3.軽傷	使用中の温水洗浄便座から熱湯が出て、裂傷を負った。	約1年7月	被害者が別の原因で傷などを負っていた可能性があり、洗浄時に勢いよく出る温水により傷を負ったと感じたものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2014/1/6	01 家庭用電気製品
2013-1935	2013/10/20	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＤＴ－４５１２	（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）	5.製品破損	使用中の温水洗浄便座から異音がし、異臭がして発煙した。（事故発生地：埼玉県）	約10年	長期使用（約１０年）により、ヒーターと温水タンクの総合用パッキンが劣化したため、水が滲み出して温水タンク上部に水分が溜まり、制御基板上で結露が生じたことから、電源基板上のコネクター内部で絶縁性が低下して短絡し、コネクター樹脂の一部が炭化して発煙したものと推定される。	Ｃ１	製造事業者は、事故原因は不明とみており、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視することとした。	消費者センター	2013/10/25	01 家庭用電気製品
A201300352	2013/8/2	温水洗浄便座			2.重傷	病院で当該製品を使用していたところ、臀部に低温火傷を負った。（事故発生地：宮手県）		○当該製品は病院の個室に設置されており、詳細な使用状況は不明であった。○当該製品の操作部には、便座温度は「低」又は「切」にする旨、病院で注意ラベルを貼っていたが、便座温度は「中」になっていた。○当該製品の便座に変色・変形はなく、便座温度は「高」４３℃、「中」４０℃、「低」３３℃で安定し、異常は認められなかった。○便座内部のヒーター及び温度センサーの貼り付け状態に異常は認められなかった。○取扱説明書には、「お年寄り、病気の方、皮膚の弱い方は、便座温度を「低」か「切」にする。長時間使用すると低温火傷のおそれがある。」旨、記載されていた。●当該製品の詳細な使用状況が不明なため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	F２		経済産業省　非重大製品事故(2013-1362)	2013/8/19	01 家庭用電気製品
A201300173	2013/5/29	温水洗浄便座	ＴＣＦ９７０	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	11.火災	異臭に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。（事故発生地：兵庫県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、部品メーカーにより特定期間内に製造したコネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動により、メッキが割れてコネクター部分が接触不良となり発熱した。その影響によりコントローラー基板上のはんだ付け部に、はんだクラックが生じ絶縁不良となり、異極間でスパーク、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2013-0638)	2013/6/5	01 家庭用電気製品
A201300015	2013/3/28	温水洗浄便座	ＣＨ７２Ｓ１ＮＦ	松下電工（株）（現　パナソニック（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：和歌山県）		調査の結果、当該製品は、長期使用（２０年以上）により本体と便座間に接続された中継コードに屈曲が繰り返されたため、コード内の電力線の１本が断線、スパークし、中継コードの一部が焼損したものと推定される。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2013-0125)	2013/4/5	01 家庭用電気製品
A201200806	2013/1/7	昇降便座			2.重傷	施設で使用者が当該製品に着座したところ、バランスを崩して転倒し、負傷した。（事故発生地：石川県）		○当該製品の便座（ＡＢＳ樹脂製）がヒンジ付近で破断しており、破損の起点は便座表面側であった。○材料分析を行った結果、便座樹脂の表面のみに亀化が認められたものの、便座表面に微細なクラック等は認められなかった。○便座の材料曲げ強度に異常は認められなかった。○破面にボイド（空洞）や異物など成形上の不具合は認められなかった。●当該製品の強度等に異常は認められないことから、当該製品の便座に何らかの過大な荷重が加わったことにより、便座とヒンジ付近の表面にクラックが生じ、使用に伴う荷重や衝撃などにより伸展し、破断に至ったものと推定される。	F２		経済産業省　非重大製品事故(2012-2630)	2013/1/21	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
A201200776	2013/1/1	温水洗浄便座	TCF970	東陶機器株式会社（現　ＴＯＴＯ株式会社）	11.火災	異臭に気付き確認すると、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生していた。（事故発生地：茨城県）		事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、部品メーカーにより特定期間内に製造したコネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動により、メッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱した。その影響によりコントローラー基板上のはんだ付け部に、はんだクラックが生じ絶縁不良となり、異極間でスパーク、焼損したものと考えられる。	－－	東陶機器株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞広告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2012-2569)	2013/1/15	01 家庭用電気製品
A201200745	2012/12/23	温水洗浄便座			11.火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。（事故発生地：福島県）		○電源プラグに焦げが見られ片方の桜刃が焼損していたが、どちらの桜刃にも変形は認められなかった。○焼損している桜刃は度せ留っている箇所があり、その近傍に溶融痕が認められた。○電源プラグ内の桜刃と電源コードの接続部に異常は認められなかった。○壁コンセントの取付け金具にさびが発生しており、コンセント上にさびの粉が堆積していた。○当該製品の外観に変色や変形の異常は認められなかった。●当該製品は、コンセントの受け刃と電源プラグの桜刃との間にさびや緩み等の接触不良が発生し、接触抵抗が増大してスパークが発生したことにより火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2012-2475)	2012/12/28	01 家庭用電気製品
2012-2639	2012/12/14	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			4.拡大被害	温水洗浄便座付近から発煙し、出火した。	約1月	事故品のノズル洗浄ユニット付近から出火したものと考えられるが、事故発生状況が不明であり、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	製造事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2013/1/28	01 家庭用電気製品
A201200642	2012/11/20	温水洗浄便座	TCF650R#NB2	ＴＯＴＯ株式会社	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：福岡県）		○火災現場となったトイレには、他に出火元は確認されなかった。○タンク上部の手洗い用水栓から水を溢れさせて便座等を濡らしていたため、事故発生前から調子が悪かったとの証言がある。○便座は、便座コード取り込み部付近の焼損が著しく、便座プロテクター内部の配線に溶融痕が認められたが、溶融痕解析の結果、二次痕であると推定される。○便座内部に水等が浸入した場合を想定した再現試験を行った結果、トラッキング等の異常は認められなかった。●当該製品のヒーター線及び内部配線等に過熱・発火した痕跡が認められず、再現試験でも異常は発生しなかったが、出火元は他になく、事故発生以前から当該製品に不具合が生じていた原因は不明であり、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2012-2187)	2012/11/30	01 家庭用電気製品
A201200547	2012/10/16	温水洗浄便座	ＣＷ－Ｋ３１（（株）ＩＮＡＸ（現　（株）ＬＩＸＩＬ）ブランド）	アイシン精機（株）（（株）ＩＮＡＸ（現　ＬＩＸＩＬ）ブランド）	11.火災	就寝中で異臭に気付き確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。（事故発生地：北海道）		調査の結果、○当該製品を最後に使用してから約２時間半後に、当該製品側面にある操作部と周辺が焼損していた。○操作部の制御基板は、上方の樹脂製部品が焼失し、それに沿って制御基板が焼損していた。○制御基板の温水制御用電子部品が配置された箇所が著しく焼損し、基板裏面側のパターンの一部が焼失し、溶融痕が認められた。また、当該箇所を覆っていたポッティング材が焼損していた。●当該製品の制御基板の温水制御用電子部品付近から発火した可能性も考えられるが、外部の焼損も著しく、外部からの延焼の可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2012-1780)	2012/10/26	01 家庭用電気製品
A201200515	2012/9/29	温水洗浄便座			11.火災	異臭に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。（事故発生地：北海道）		○当該製品の便座の裏板は中央部で著しく焼損して、穴が開いていた。○便座後部中央の内面側のヒーター線が断線し、先端部が先端りしていたが、ヒーター線の断線部と便座裏板の穴開き位置は一致していなかった。○同等品の便座後部中央の表面に着火する実験を行った結果、当該製品と焼損状態が異なった。○同等品の便座後部中央のノズル先端部に着火する実験を行った結果、当該製品と酷似した焼損状態を再現することができた。●当該製品の使用状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火の痕跡が認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2012-1518)	2012/10/15	01 家庭用電気製品
A201200418	2012/8/29	温水洗浄便座			11.火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。（事故発生地：大阪府）		○当該製品の外郭樹脂は著しく焼損しているものの、温水タンク、制御基板等の各部品から出火の痕跡は認められなかった。○便座ヒーター一部未回収のため確認されなかったが、ヒーター線の断線部に溶融痕等の異常は認められなかった。○事故品内部に焼損した紙片が複数確認された。●当該製品の使用状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火の痕跡が認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2012-1344)	2012/9/10	01 家庭用電気製品
A201200401	2012/8/11	暖房便座			2.重傷	当該製品を使用したところ、臀部に火傷を負った。（事故発生地：兵庫県）		○当該製品は、約１５年間性別兼後老人ホームの共用トイレで使用されていた。○温度調節つまみが「高」の設定であった。○当該製品の便座の温度は最高で約５８℃に達していた。○便座本体及び便座板板に亀裂が発生し、電源コードプロテクター周辺の便座の溶着部が剥がれていた。○サーミスターリード線、ヒーター線が引っ張られ、サーミスターが便座本体から外れていた。○サーミスターリード線を正規の位置に戻すと、便座温度が４１℃になり正常な温度であった。○便座の材質はＡＢＳ樹脂であり、付着物はｐＨ１０程度の強いアルカリ反応を示した。●詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品本体の電源コードプロテクター周辺の溶着部が剥がれた状態で使用されていたため、電源コードに外力が加わった際、コードプロテクター部が外れて内部配線が引っ張られたことによりサーミスターが固定部から外れ、ヒーターの温度制御が不能となって便座の温度が高くなり、事故に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2012-1340)	2012/9/3	01 家庭用電気製品
2012-1321	2012/8/8	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ７４１　＃ＳＧ６	東陶機器（株）（現　ＴＯＴＯ（株））	5.製品破損	温水洗浄便座から焦げ臭いにおいがして、本体側面が熱くなった。（事故発生地：群馬県）	約15年	ＤＣ電源基板上のモーター制御用ＩＣが異常発熱し、基板とポッティング剤が焦げて異臭がしたものと推定されるが、ＩＣが異常発熱した原因の特定はできなかった。	Ｇ３	製造事業者は、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。ＮＩＴＥは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者	2012/9/6	01 家庭用電気製品
A201200500	2012/7/27	温水洗浄便座			2.重傷	当該製品に着座していたところ、臀部に火傷を負った。（事故発生地：石川県）		○当該製品のヒーターに、貼りむら、断線などの異常は認められなかった。○当該製品の便座温度設定を「高」として、便座表面温度を連続測定したところ、異常な温度上昇は認められなかった。○当該製品に便座温度の異常上昇のエラー履歴はなかった。●詳細な使用状況等が不明のため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の便座表面温度に異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。なお、当該製品の便座ふた裏及び取扱説明書には、「長時間使用する時は、便座温度を「切」にする。お年寄りなどが使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。」旨、記載されている。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2012-1615)	2012/10/9	01 家庭用電気製品
A201200133	2012/4/30	温水洗浄便座	CW-531（株式会社INAXブランド）	アイシン精機株式会社（株式会社INAXブランド）	11.火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。		事故の原因は、製造から長期間経過したことにより、便座電気コードが断線、発熱し、出火に至ったものと考えられる。	－－	アイシン精機株式会社は、当該製品を含む対象機種について、同社が直接販売した製品については、平成２０年１１月２６日にプレスリリースを行い、平成２０年１２月３日に新聞広告を掲載し、使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。また、販売事業者である株式会社ＩＮＡＸ（現株式会社ＬＩＸＩＬ）においては、平成２０年１１月２６日にプレス公表を行い、平成２０年１１月２７日に新聞広告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具	経済産業省　重大製品事故(2012-0413)	2012/5/16	01 家庭用電気製品
2012-0296	2012/4/21	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７０	東陶機器（株）（現在：ＴＯＴＯ（株））	4.拡大被害	温水洗浄便座が焼損し、壁を汚損したほか階下へも漏水した。	約12年	温水洗浄便座のコントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	製造事業者は、２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2012/5/8	01 家庭用電気製品
2012-0255	2012/3/19	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＷ－５３０（ブランド：（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の一部が焼損した。	約20年	長期使用（約２０年）により、便座電気コードの被覆の劣化と、便座の開閉による屈曲により、便座電気コードの芯線が断線するとともに被覆が損傷し、損傷箇所に尿や洗剤等が浸入してトラッキングが発生し、出火に至ったものと推定される。	Ｃ１	製造事業者及びブランド事業者は、２００８（平成２０）年１１月２６日付けでホームページ、同年１１月２７日（ブランド事業者）及び同年１２月３日（製造事業者）に新聞社告を掲載するとともに、ＤＭを送付し長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のための告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2012/4/26	01 家庭用電気製品
2011-3952	2012/1/20	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ７４０	東陶機器（株）（現在：ＴＯＴＯ（株））	5.製品破損	トイレから異臭がしたので確認したところ、温水洗浄便座の内部が発熱していた。	約15年	ＤＣ電源回路の電子部品（三端子レギュレーター）にはんだ付け不良があったため、はんだクラックが発生し、別の電子部品（洗浄ヒーター制御用ＩＣ）が過負荷状態となって異常発熱し、周辺の樹脂ケースが焦げたものと推定される。なお、被害者は、入居時から暖房便座、洗浄機能が動作しないことを認識していたが、通電を継続していた使い方も事故に至った原因と考えられる。	Ｂ２	製造事業者は、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。ＮＩＴＥは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者	2012/2/3	01 家庭用電気製品
A201100738	2011/12/11	温水洗浄便座	TCF975	東陶機器株式会社（現　ＴＯＴＯ株式会社）	11.火災	当該製品が焼損する火災が発生した。（事故発生地：福島県）		調査の結果、コントローラー基板の温水ヒーター用コネクター部分のパターン（回路）やAC100Vパターンが焼失しており、社告事象と一致していた。事故原因は、コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、部品メーカーが特定期間内に製造したコネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱した。その影響によりコントローラー基板上のはんだ付け部に、はんだクラックが生じ、絶縁不良となり、異極間でスパーク、発火したものと考えられる。	－－	東陶機器株式会社（現ＴＯＴＯ株式会社）は、当該製品を含む対象機種について、製品内部の一部接続部で接触不良が発生し、プラスチック製タンクの一部から発煙・出火に至るおそれがあることから、平成１９年４月１６日にホームページへ情報を掲載するとともに、翌１７日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について無償点検・改修を実施している。	経済産業省　重大製品事故(2011-3546)	2011/12/21	01 家庭用電気製品
2011-2915	2011/11/2	暖房便座【電気便座】	ＣＨ８７３	松下電工（株）（現在：パナソニック（株））	5.製品破損	暖房便座とタンクの一部が焼損した。	約27年	長期使用（２７年）により、便座コードが屈曲ストレス等により半断線を生じ、発熱・発火したものと推定される。	Ｃ１	製造事業者は、他に同種事故発生の情報がないことから、措置はとらなかった。ＮＩＴＥは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	消防機関	2011/11/8	01 家庭用電気製品
2011-3014	2011/10/31	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ４４１	東陶機器（株）（現在：ＴＯＴＯ（株））	5.製品破損	温水洗浄便座から焦げ臭いにおいがし、部品の一部が溶融した。	約21年	長期使用（約２１年）により、制御基板上の半導体リレー内部のコンデンサーが絶縁破壊し、内部の抵抗に過電流が流れて異常発熱したため、半導体リレー外部樹脂が溶融し、焦げ臭いにおいがしたものと推定される。	Ｃ１	製造事業者は、温水ユニット及び温風ユニットの安全装置が作動し終息していることから、措置はとらなかった。ＮＩＴＥは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	製造事業者	2011/11/21	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原因	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
2011-2783	2011/10/11	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＷ－５３０（ブランド：（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	3.軽傷	温水洗浄便座付近から出火し、便座と周辺を焼損した。	約20年	長期使用（約２０年）により、便座電気コードの被覆の劣化と、便座の開閉による屈曲により、便座電気コードの芯線が断線するとともに被覆が損傷し、損傷箇所に尿や洗剤等が浸入してトラッキングが発生し、出火に至ったものと推定される。	Ｃ１	製造事業者及びブランド事業者は、２００８（平成２０）年１１月２６日付けでホームページ、同年１１月２７日（ブランド事業者）及び同年１２月３日（製造事業者）に新聞社告を掲載するとともに、ＤＭを送付し長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2011/10/21	01 家庭用電気製品
2011-2370	2011/9/2	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７０Ｌ	東陶機器（株）（現在：ＴＯＴＯ（株））	5.製品破損	温水洗浄便座付近から発煙した。	約15年	温水洗浄便座のコントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	製造事業者は、２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2011/9/15	01 家庭用電気製品
A201100365	2011/8/14	温水洗浄便座	TCF401	東陶機器株式会社（現　ＴＯＴＯ株式会社）	11.火災	当該製品が焼損し、周辺が汚損する火災が発生した。（事故発生地：群馬県）		事故原因は、当該製品の長期間使用（約２９年）により、ノズル用バキュームブレーカからの漏水が生じていた状態で使用を継続していたことにより、温水パイメタルスイッチの電極間が絶縁劣化して異常発熱が生じ出火に至ったものと考えられる。	－－	温水洗浄便座協議会（温水洗浄便座を製造・販売する企業で構成。）にて発行する「重大製品事故防止のためのお願い」のチラシの配布など、「故障したまま使い続けない」よう、消費者に安全啓発の注意喚起活動を継続している。	経済産業省　重大製品事故(2011-1888)	2011/8/24	01 家庭用電気製品
2011-0961	2011/6/8	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座の電源プラグ付近のコードから出火した。	約14年3月	電源プラグ側のコードプロテクター付近に屈曲や引っ張りなどのストレスが繰り返し加わり、芯線が断線してスパークが生じたものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消防機関	2011/7/8	01 家庭用電気製品
A201100087	2011/4/20	温水洗浄便座	シャワートイレＦⅢ	アイシン精機（株）（（株）ＩＮＡＸ（現　ＬＩＸＩＬ）ブランド）	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：北海道）		調査の結果、製品本体内部の電気部品(温水ヒーターリレー)が焼損していた。この温水ヒーターリレーを覆う樹脂製ケースが割れており、内部の導線が碍げて断線し、溶融痕が認められた。また、温水ヒーターリレーの上部に位置する温水タンク外側のオーバーフロー用排水溝に、水道水の蒸発残留物とみられる付着物が堆積していた。以上のことから、当該製品の温水ヒーターリレーケースが何らかの要因で割れていたところ、長期間の使用（約２５年）により、温水タンクの排水溝が詰まり、溢れた水がケースの割れ目から温水ヒーターリレーにかかり、そのために断線・発熱し、事故に至ったものと考えられる。なお、リレーケースの割れは、製造時に生じた可能性又は樹脂の経年劣化の可能性が考えられるが、特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2011-0396)	2011/4/28	01 家庭用電気製品
A201001015	2011/2/19	温水洗浄便座	CW-101（株式会社INAXブランド）	アイシン精機株式会社（株式会社INAXブランド）	11.火災	火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品から発煙する火災が発生しており、当該製品が焼損、周辺が汚損した。（事故発生地：群馬県）		事故原因は、長期間の使用により、便座電気コードが断線・発熱し、発煙に至ったと考えられる。	－－	アイシン精機株式会社は、直接販売した製品については、平成２０年１１月２６日にプレス公表を行い、平成２０年１２月３日に新聞広告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。また、販売事業者である株式会社ＩＮＡＸにおいては、平成２０年１１月２６日にプレス公表を行い、平成２０年１１月２７日に新聞広告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。	経済産業省　重大製品事故(2010-4493)	2011/2/28	01 家庭用電気製品
A201001040	2011/1/30	暖房便座			2.重傷	施設内で入居者が当該製品を使用中、低温火傷を負った。（事故発生地：広島県）		○入居者は、当該製品の便座に３０分程度り、臀部に低温火傷を負っていた。○事故時の便座の温度調節つまみの位置は不明であったが、施設側では、つまみの「低温」表示より少し高い側にマーキングを付けて管理していた。○当該製品の便座には、発熱の痕跡はなく、温度制御に異常は認められなかった。●当該製品には、異常は認められないことから、温度調整つまみの管理及び使用時の注意が不十分であったことから、低温火傷を負ったものと推定される。なお、便座ふた裏面には、長時間使用した場合に低温火傷の恐れがあるため、「年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方は、温度調節を「低」又は「切」にして周りの方が十分注意してあげてください。」旨、記載されている。	Ｅ２		経済産業省　非重大製品事故(2010-4402)	2011/3/7	01 家庭用電気製品
A201000865	2011/1/12	温水洗浄便座	CW-1051（株式会社INAXブランド）	アイシン精機株式会社（株式会社ＩＮＡＸブランド）	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		調査の結果、当該製品は、何らかの原因でファンモーターが作動しない状態で温風ヒーターへ通電が継続し、さらに安全装置が調食により機能しない状態であったため、温風ヒーターが異常発熱して発煙に至ったものと考えられるが、原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2010-3901)	2011/1/21	01 家庭用電気製品
A201000566	2010/9/24	暖房便座	CF-16AL(株式会社ＩＮＡＸブランド)	アイシン精機株式会社（株式会社ＩＮＡＸブランド）	11.火災	異臭がしたため確認すると、当該製品の左側が焼損する火災が発生していた。（事故発生地：長野県）		当該製品の便座コードの芯線断線部に、溶融痕が認められ、また、断線部に洗浄液成分の付着物が検出されたことから、長期間使用（約２４年）するうちに、便座の開閉により便座コード及び被覆が損傷し、芯線が断線してスパークが生じ、出火に至ったものと考えられる。	－－	製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社ＩＮＡＸは、平成２０年１１月２７日（（株）ＩＮＡＸ）及び平成２０年１２月３日（アイシン精機（株））に新聞社告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。	経済産業省　重大製品事故(2010-2748)	2010/10/4	01 家庭用電気製品
A201000318	2010/7/5	温水洗浄便座	CW-K31（株式会社ＩＮＡＸブランド）	アイシン精機株式会社（株式会社ＩＮＡＸブランド）	11.火災	当該製品の操作部が溶損し、発煙する火災が発生して、当該製品が焼損、周辺が汚損した。（事故発生地：北海道）		調査の結果、当該製品は、操作部内部の基板が焼損しており、温水ヒーター配線のコネクターの２ピンのうち１ピンが折損し、折損部には溶融痕が認められた。当該製品の製造時にコネクターピンを曲げる取付ミスがあると、コネクターピンにクラックが入り、その後にコネクターを付け直すとコネクターピンが折損することが確認できたことから、当該製品は、内部基板のコネクターに取付ミスがあり、コネクターピンにクラックが入っていた状態でコネクターを抜き差ししたことで、コネクターピンが折損したため、折損部でスパークが生じ異常発熱し発火に至ったものと考えられる。	－－	事業者であるアイシン精機株式会社は、２０１０年８月、再発防止対策として、製造作業者に対しては、コネクターを取り付ける際、ピンを曲げたときは廃棄処理すること。また、修理作業者に対しては、修理時の際にコネクターに無理なカを加えないことを周知している。	経済産業省　重大製品事故(2010-1463)	2010/7/14	01 家庭用電気製品
2010-1146	2010/6/20	便器（便座）			3.軽傷	便器を使用中、突然便座が外れ落ち、右肩に打撲を負った。	約4月	事故品はインターネット通販により購入したもので、取付金具が固定用ネジ穴付近で破損しており、ネジを締め付けすぎた痕跡がみられたことから、被害者が事故品を便座に取り付ける際に、ネジを締めすぎたため取付金具に亀裂が生じ、使用中に破断したものと推定される。	Ｅ３	被害者の設置・施工不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2010/6/22	04 家具・住宅用品
2010-2884	2010/5/29	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＷ－ＲＨ１	アイシン精機（株）	5.製品破損	使用中の温水洗浄便座から異臭がし、発煙した。	約7年	メイン基板の電源コネクタピンにはんだ付け不良があったため、はんだ付け部にクラックが生じ、スパークが発生し発煙したものと推定される。	Ａ２	他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消費者センター	2010/10/26	01 家庭用電気製品
2009-4210	2010/3/12	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＣＨ６２２Ｓ	松下電工（株）（現在：パナソニック電工（株））	5.製品破損	温水洗浄便座から焦げたにおいがし、接続コードが焦げた。	不明	長期使用（１３年以上）により、便座コードに便座開閉による機械的ストレス及び尿やトイレ用洗剤による化学的ストレスが加わり、便座コードのヒーター接続線が断線、接触不良により異常発熱し被覆破壊により短絡したものと推定される。	Ｃ１	他に同種事故発生の情報はなく、安全装置（電流ヒューズ）が作動していることから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター	2010/3/17	01 家庭用電気製品
2009-3323	2010/1/17	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	Ｈ１（ブランド：（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座が溶融・焼損し、陶器製の洗浄用タンクが破損した。	約21年6月	長期使用（約２１年）により、便座の開閉による屈曲により便座電気コードの芯線が断線するとともに絶縁被覆が損傷し、尿や洗剤等が付着し、トラッキングが発生して出火に至ったものと推定される。	Ｃ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページに告知を掲載するとともに、同年１１月２７日付け新聞に社告を掲載し、ＤＭを送付して注意喚起を行い、無償で対象製品の不具合確認を実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2010/1/28	01 家庭用電気製品
A200900837	2009/12/26	温水洗浄便座	HC-100	日立化成工業株式会社（現　株式会社ハウステック）	11.火災	当該製品から発煙・発火する火災が発生した。当該製品が焼損し、周辺を汚損した。（事故発生地：埼玉県）		事故原因は、メイン基板から電解性成分が検出されたことから、長期使用（約２２年）によって発生した外部の亀裂から当該液体（電解性）が侵入・付着し、メイン基板上で短絡したものと考えられるが、措置が省く亀裂が発生した原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2009-2982)	2009/12/28	01 家庭用電気製品
2009-2878	2009/12/14	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５	東陶機器株式会社（現：ＴＯＴＯ（株））	5.製品破損	温水洗浄便座の一部が変形、変色し、漏水した。	不明	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2010/1/5	01 家庭用電気製品
2009-2517	2009/11/10	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			3.軽傷	温水洗浄便座を使用したところ、低温火傷を負った。	約3年9月	当該品の便座表面温度は、正常に動作しており、内部の部品にも異常は認められず、当該品を使用し低温火傷を負った原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者	2009/12/4	01 家庭用電気製品
2009-2411	2009/10/30	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７０	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座を使用中、タンク下方から発煙した。	不明	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2009/11/26	01 家庭用電気製品
A200900618	2009/10/21	温水洗浄便座			11.火災	異臭がしたため確認すると、当該製品付近から発煙しており、当該製品及び周辺を焼損した。（事故発生地：奈良県）		○当該製品本体は焼損していなかった。○当該製品のリモコン（電池式）は外郭樹脂が焼損しているが、内部基板に発火の痕跡は認められなかった。●事故原因は、当該製品本体及び当該製品のリモコンに発火した痕跡が認められないことから、当該製品からの発火ではないと判断される。	Ｆ２			経済産業省　非重大製品事故(2009-2218)	2009/11/4	01 家庭用電気製品
A200900561	2009/10/5	温水洗浄便座	TCF401	ＴＯＴＯ株式会社	11.火災	当該製品が焼損する火災が発生した。（事故発生地：沖縄県）		事故の原因は、長期使用（約２７年）により、製品内部の熱交換器と伸縮ノズル間の樹脂製パイプに亀裂が生じたため漏水し、この状態で使用を継続したことにより、温水パイメタルスイッチの接続端子が腐食・断線して導通不良を起こして発熱・出火に至ったものと考えられる。	－－	温水洗浄便座協議会（温水洗浄便座を製造・販売する企業で構成。）にて発行する「重大製品事故防止のためのお願い」のチラシの配布など、「故障したまま使い続けない」よう、消費者に安全啓発の注意喚起活動を継続している。	経済産業省　重大製品事故(2009-2043)	2009/10/15	01 家庭用電気製品
A200900549	2009/10/2	温水洗浄便座	ＣＨ６２４Ｓ	松下電工（株）（現　パナソニック（株））	11.火災	当該製品を焼損する火災が発生した。（事故発生地：北海道）		調査の結果、○当該製品はタンク部底部の外郭樹脂が焼損しているが、内部の電気部品、配線等は焼損していなかった。○当該製品の電源コードが中間位置で断線し、溶融痕が認められた。○電源コードの断線は、①当該温所に外力による機械的ストレスが加わった、②製造上の不良品が混入した、③製品流通や設置の過程で絶縁被覆に傷が入った、等の原因が考えられるが、特定出来なかった。●当該製品の電源コードが何らかの原因で短絡し、出火したものと推定されるが、短絡に至った原因が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	－－	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2009-1988)	2009/10/9	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原因	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
A200900463	2009/8/30	温水洗浄便座	HBC-8812SWF	株式会社ＩＮＡＸ	11.火災	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。（事故発生地：長野県）		調査の結果、○当該製品は半年前から脱臭機能が作動しない故障が生じていた。○当該製品の焼損状況は、脱臭ファンが取り付けられている左後側の焼損が著しい状況であった。○脱臭ファンは焼損が著しく、内部基板が焼失していた。○その他の制御基板、温水ヒーター、温風ファン、電磁ポンプ、内部配線、漏電ブレーカー、コンセント等には、発火の痕跡が認められなかった。●当該製品は、半年前から脱臭ファンに不具合が生じていたため、出火に至った可能性があるが、脱臭ファンは焼損が著しく、内部基板が焼失しているため、製品起因か否かも含め、事故原因の特定に至らなかった。	－－	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2009-1642)	2009/9/8	01 家庭用電気製品
A200900420	2009/8/12	温水洗浄便座			11.火災	異常食がしたため確認すると、当該製品周辺が焼損する火災が発生した。（事故発生地：新潟県）		調査の結果、○当該製品に溶融痕等の発火の痕跡が認められないことから、●当該製品からの発火ではないものと推定。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2009-1372)	2009/8/26	01 家庭用電気製品
2009-1437	2009/8/9	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＶ－２１５	（株）ＩＮＡＸ	5.製品破損	温水洗浄便座の内部基板が発熱し、外部カバーにへこみができた。	約5年	洗浄用ポンプのパッキンに異物が噛み込む等により温水が発生し、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れたが、安全装置（温度ヒューズ）が付いていなかったため、駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	Ａ１	２００８（平成２０）年１２月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者	2009/8/28	01 家庭用電気製品
2009-1809	2009/8/3	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ウォッシュレットＧ　ＴＣＦ７４１	ＴＯＴＯ（株）	3.軽傷	温水洗浄便座から水漏れしていたが、使用できたのでそのまま使用していたところ、樹脂が焼ける臭いがし、気分が悪くなり嘔吐した。	約10年	温水タンクに亀裂が入ったため、漏水により基板上にある電圧制御用ＩＣの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンクに亀裂が入った原因の特定はできなかった。	Ｇ３	事故原因が不明であり、発火に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター	2009/10/2	01 家庭用電気製品
A200900353	2009/7/18	温水洗浄便座			11.火災	火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。（事故発生地：茨城県）		調査の結果、○当該製品に溶融痕等の発火の痕跡が認められないことから、●当該製品からの発火ではないものと推定。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2009-1259)	2009/7/30	01 家庭用電気製品
2009-1215	2009/6/14	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ウォッシュレットＧ　ＴＣＦ７４０	ＴＯＴＯ（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の左側から漏水した後、本体から発煙した。	約10年	温水タンクに亀裂が入ったため、漏水により基板上にある電圧制御用ＩＣの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンクに亀裂が入った原因の特定はできなかった。	Ｇ３	事故原因が不明であり、拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	製造事業者	2009/7/29	01 家庭用電気製品
A200900150	2009/5/14	温水洗浄便座	CW-530（株式会社INAXブランド）	アイシン精機株式会社（株式会社ＩＮＡＸブランド）	11.火災	当該製品に向かって右側奥が溶損する火災が発生した。（事故発生地：愛知県）		事故の原因は、長期間使用（約２０年）による便座電気コードの被覆の劣化と、便座の開閉による屈曲により、便座電気コードの芯線が断線するとともに被覆が損傷し、損傷箇所に尿や洗剤等が浸入してトラッキングが発生し、出火に至ったものと考えられる。	－－	製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社ＩＮＡＸは、平成２０年１１月２７日（（株）ＩＮＡＸ）及び平成２０年１２月３日（アイシン精機（株））に新聞社告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施している。	経済産業省　重大製品事故(2009-0638)	2009/5/25	01 家庭用電気製品
2009-0930	2009/5/11	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５Ｌ	東陶機器（株）（現：ＴＯＴＯ（株））	5.製品破損	温水洗浄便座から焦げ臭いにおいがし、発煙した。	約9年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2009/7/2	01 家庭用電気製品
A200900105	2009/4/25	温水洗浄便座			11.火災	当該製品付近から発煙する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		○当該製品は、熱交換器、温水ヒーター、操作部等が著しく焼損していた。○熱交換器の一部に腐食、炭化、溶融欠損が認められた。○当該製品は、洗浄ノズル本体に亀裂が生じ、洗浄機能使用時に漏れた水により、バイメタルスイッチが被水する状態であった。○使用者は当該製品が約２年前から漏水していることを認識していたが使用を継続していた。●長期使用（約２４年）により当該製品がノズル本体の亀裂から水が漏れる状態であったが、使用者が修理せず約２年間そのまま使用を継続していたため、バイメタルスイッチが繰り返し被水したことで、接点腐食による絶縁不良により出火したものと推定される。	Ｅ１		経済産業省　非重大製品事故(2009-0449)	2009/5/8	01 家庭用電気製品
2008-5185	2009/3/5	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＴＣＦ６１１♯ＳＣ１	ＴＯＴＯ（株）	5.製品破損	トイレから焦げ臭いにおいがし、温水洗浄便座（ＡＢＳ樹脂製）に亀裂が入って一部が焦げていた。なお、事故品は日常的にトイレ用洗剤で清掃されていた。	約12年	亀裂の破面に溶剤亀裂を示す銀面と疲労破壊を示すストライエーションが確認されたことから、トイレ用洗剤の影響でクラックが発生し、その状態で継続使用されたために、電線の断度、クラック部分のヒーター線への応力集中が繰り返され、ヒーター線が断線してスパークし、周囲の樹脂が焦げたものと推定される。なお、取扱説明書及びしおりには、樹脂が傷んで、割れてけがをするおそれがあるとして、トイレ用洗剤等の使用を禁止する旨が記載されていたが、製品本体には同事項が表示されていなかった。	Ｂ４	便座内のヒーター線の電流値は０．８Ａ（８０Ｗ）と小さく、ヒーター線が断線した場合は通電されなくなり、拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品についての措置はとらなかった。なお、後継機種については便座の材質をポリプロピレンに変更するとともに、製品にひび割れが入った状態のまま使いつづけると、火災や感電の原因になる旨を、取扱説明書に記載している。	医療機関	2009/3/9	01 家庭用電気製品
2008-5117	2009/2/27	温水洗浄便座【温水洗浄便座】【電気便座】	ＡＬ－５０２０ＩＩ（ブランド：旭硝子（株））	東京デーゼル（株）（倒産）	3.軽傷	木造平屋住宅から出火して、約８０平方メートルを全焼し、家人１人が消火の際に軽い火傷を負った。	約20年	被害者が便器の蓋まりを直すために、事故品の電源を入れたまま便器から外した際に、出火したものと考えられるが、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。なお、事故品の温水洗浄機能は約７年前から故障しており、暖房便座機能のみで使用していた。	Ｇ３	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	製品評価技術基盤機構	2009/3/3	01 家庭用電気製品
2008-4977	2009/2/2	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＤＶ－２１７	（株）ＩＮＡＸ	5.製品破損	温水洗浄便座の内部基板が発熱し、外部カバーの一部がへこんだ。	約4年9月	洗浄用ポンプのパッキンに異物が噛み込む等により温水が発生し、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れたが、安全装置（温度ヒューズ）が付いていなかったため、駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	Ａ１	２００８（平成２０）年１２月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。	製造事業者	2009/2/19	01 家庭用電気製品
2009-0345	2009/1/7	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７０Ｌ	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の外郭の一部が変形、変色した。	不明	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2009/4/30	01 家庭用電気製品
2008-3707	2008/11/26	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＴＣＦ８４０	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から焦げ臭いにおいがした。	約13年10月	温水タンクに亀裂が入ったため、漏水により基板上にある電圧制御用ＩＣの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンクに亀裂が入った原因の特定はできなかった。	Ｇ３	事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、今後の事故発生状況を注視することとし、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	消防機関	2008/12/2	01 家庭用電気製品
2009-0344	2008/11/10	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５Ｌ	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がして、発煙し、機器外郭の一部が変形、変色した。	不明	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2009/4/30	01 家庭用電気製品
A200800809	2008/10/29	温水洗浄便座			2.重傷	当該製品を使用したところ、下半身に火傷を負った。（事故発生地：新潟県）		調査の結果、○使用者は、当該製品の便座の温度が高くなっていることに気付かずに長時間使用を継続していた。○便座の溶着部（着座部の内側）が衝撃等で破損し、内部による温度制御用の感温（サーミスタ）が湿気等の影響で故障状態であった。○便座の温度測定の結果、最高温度は５４℃であり、通常（最大調整時３８℃）より高くなっていた。●事故原因は、使用者が、便座の温度が高くなっていることに気付かずに使用したため、低温火傷を負ったものと推定される。なお、温度制御用部品の故障の原因は、衝撃等により便座の溶着部に隙間が生じ、長期間使用（約１０年）によって内部に浸入した湿気等が影響したものと考えられた。また、取扱説明書には「低温やけどのおそれがあるため、病気の方等に対して便座つまみを「切」にする」旨、記載されていた。	Ｅ２		経済産業省　非重大製品事故(2008-3522)	2008/11/13	01 家庭用電気製品
A200800779	2008/10/19	暖房便座			11.火災	当該製品が焼損する火災が発生した。（事故発生地：大阪府）		当該製品からの出火の痕跡はなく、事故当時、便座ヒーター部は通電していなかったことから、製品から出火した事故ではないと判断した。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2008-3250)	2008/11/5	01 家庭用電気製品
A200800790	2008/10/8	温水洗浄便座	ＤＶ－２１６Ｈ	株式会社ＩＮＡＸ	11.火災	当該製品の一部が発熱、発煙し、本体カバーの一部が溶ける事故が発生した。（事故発生地：東京都）		事故原因は、温水洗浄用ポンプから水が漏れ、モーター部が錆びたためにモータが固着し、洗浄機能使用時に基板に過電流が流れるようになった際に、当該製品には温水洗浄用ポンプに過電流に対する保護装置（電流ヒューズ）が取り付けられていなかったために、発熱、発煙に至ったものと思われる。	－－	製造事業者である株式会社ＩＮＡＸは、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、平成２０年１２月１６日プレス公表、ホームページでの告知を行い、平成２０年１２月１７日に新聞社告を掲載して注意喚起を行うとともに、対象製品の無償点検、無償修理を実施しています。	経済産業省　重大製品事故(2008-3434)	2008/11/7	01 家庭用電気製品
A200800617	2008/9/15	温水洗浄便座	ＣＷ－５３１（ＩＮＡＸブランド）	アイシン精機株式会社	11.火災	トイレの窓から発煙しているのを見つけて、扉を開けたところ、当該製品から火が出ていた。		事故原因は、長期間使用されていた当該製品の便座電気コードが断線したことにより出火に至ったものであるが、便座電気コードが断線に至った原因については特定されていない。	－－	事故に至った製品は１８年以上の長期間使用されていたものであり、便座が緩まらないなどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社ＩＮＡＸは、事故の再発防止の観点から、平成２０年１１月２６日プレス公表、平成２０年１１月２７日（（株）ＩＮＡＸ）、平成２０年１２月３日（予定・アイシン精機（株））に新聞への広告を掲載して、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています	経済産業省　重大製品事故(2008-2759)	2008/9/17	01 家庭用電気製品
2008-5287	2008/9/10	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＴＣＦ６１１♯ＳＣ１	ＴＯＴＯ（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座（ＡＢＳ樹脂製）の一部に亀裂と焦げがあり、便器部分にすすが付着していた。なお、事故品は日常的にトイレ用洗剤で清掃されていた。	約12年	亀裂の破面に溶剤亀裂を示す銀面と疲労破壊を示すストライエーションが確認されたことから、トイレ用洗剤の影響でクラックが発生し、その状態で継続使用されたために、電線の断度、クラック部分のヒーター線への応力集中が繰り返され、ヒーター線が断線してスパークし、周囲の樹脂が焦げたものと推定される。なお、取扱説明書及びしおりには、樹脂が傷んで、割れてけがをするおそれがあるとして、トイレ用洗剤等の使用を禁止する旨が記載されていたが、製品本体には同事項が表示されていなかった。	Ｂ４	便座内のヒーター線の電流値は０．８Ａ（８０Ｗ）と小さく、ヒーター線が断線した場合は通電されなくなり、拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品についての措置はとらなかった。なお、後継機種については便座の材質をポリプロピレンに変更するとともに、製品にひび割れが入った状態のまま使いつづけると、火災や感電の原因になる旨を、取扱説明書に記載している。	医療機関	2009/3/17	01 家庭用電気製品
A200800560	2008/8/25	温水洗浄便座			11.火災	和式便座にアタッチメントを付けて当該製品が設置されていたトイレから出火する火災が発生した。（事故発生地：沖縄県）		調査の結果、当該製品の便座シートのゴム脚とアタッチメントの間に電源コードが挟まれた状態で使用されていたため、電源コードが損傷し、断線、ショートして発火したものと判断した。	Ｅ３		経済産業省　非重大製品事故(2008-2375)	2008/9/1	01 家庭用電気製品
2008-2898	2008/8/12	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９４５Ｌ	ＴＯＴＯ（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙して、外郭の一部が変形した。	約8年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2008/10/3	01 家庭用電気製品
2008-1573	2008/7/22	幼児用補助便座（樹脂製、ステップ付）			3.軽傷	当該品を使用中にシート部の左側が破損した拍子に、子供がバランスを崩して落下し、足に擦過傷を負った。当該品を移動させようと持ち上げたところステップ部の右側も破損した。	約2月	事故品はポリプロピレン製の幼児用補助便座で、使用前の便座への取付状態や部品の緩み等がなかったことが保護者によって確認されていた。事故品の破損部に偏及び成形不良は認められず、破面の状況から水平方向の強い荷重によって破損したと考えられるが、使用状況等の詳細は不明であり、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、当該製品の販売は既に終了している。	消費者センター	2008/7/22	09 乳幼児用品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
A200800395	2008/7/9	温水洗浄便座	HC-200C	株式会社日立ハウステック(現　株式会社ハウステック)	11.火災	家人がトイレから出火しているのに気付き、消火した。当該製品の一部が焼損し、トイレ内が汚損した。（事故発生地：愛知県）		事故原因は、当該製品のヒーター線の端子のはんだ付け部が、長期間（１８年間）使用されている間に、はんだ割れをおこし、出火に至ったものと考えられる。	－ －	引き続き同種の事故発生に注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2008-1568)	2008/7/16	01 家庭用電気製品
2008-2897	2008/6/26	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９６０	ＴＯＴＯ（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がして、タンクの内部が焦げ、外郭の一部が変形した。	約9年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2008/10/3	01 家庭用電気製品
A200800320	2008/6/21	温水洗浄便座	ＣＷ－５３１（（株）ＩＮＡＸブランド）	アイシン精機株式会社	11.火災	トイレの屋を開けたところ、トイレ内が煤で真っ黒になっており、当該製品の一部が焼損していた。		事故原因は、長期間使用されていた当該製品の便座電気コードが断線したことにより出火に至ったものであるが、便座電気コードが断線に至った原因については特定されていない。	－ －	事故に至った製品は１８年以上の長期間使用されていたものであり、便座が腰まらないなどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社ＩＮＡＸは、事故の再発防止の観点から、平成２０年１１月２６日プレス公表、平成２０年１１月２７日（（株）ＩＮＡＸ）、平成２０年１２月３日（予定・アイシン精機（株））に新聞への広告を掲載して、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています	経済産業省　重大製品事故(2008-1285)	2008/6/25	01 家庭用電気製品
A200800230	2008/5/30	温水洗浄便座	ＤＬ－１５３	松下電器産業株式会社（旧　パナソニック株式会社）	11.火災	トイレに行くと当該製品の本体左裏部の前面が焦け、トイレ内が煤けていた。（事故発生地：宮崎県）		調査の結果、内部部品に洗剤や尿が付着し、トラッキングが発生したものと判断された。事故品は一部焼損している部分があるが、残存する外郭ケースには脚部やひび割れ等は確認されなかった。また、同等品による再現試験（注水試験）でも水の浸入はみられなかったため、外郭ケース内に洗剤や尿が浸入した原因の特定には至らなかった。	－ －	原因の特定には至らなかったため、引き続き同種の事故発生について注視し、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2008-0993)	2008/6/4	01 家庭用電気製品
2008-1284	2008/5/12	温水洗浄便座			3.軽傷	子供が当該製品の便座内側前部で身体の一部を挟み、けが を負った。	約2年	便座内側前部にバリや鋭利な部分はみあたらず、被害者が便座にはまり込んだ状態から勢いよく飛び出した際にけがを負ったものとこたから、便座にはまり込んだため便座内側前部に皮膚を強く押し当ててしまい、飛び出した際に皮膚を擦ってしまったためけがを負ったものと推定される。	Ｅ２	２００８（平成２０）年７月１７日付けのホームページに社告を掲載し、無償で点検・部品交換を行っている。また、グリップ部の形状及び材料を変更し、強度向上を図った。	国の行政機関	2008/6/30	01 家庭用電気製品
2008-3175	2008/5/8	便座昇降装置	便座プラス　ＫＪ１０１	小糸工業（株）	5.製品破損	便座昇降装置に補助のために付いているグリップに手をかけて立ち上がったところ、グリップが折れて破損した。	約2年	樹脂製グリップの設計強度不足により、使用の際のグリップに手を掛けて立ち上がる動作の繰り返しで、グリップに亀裂が生じて進行し、当日の動作で破損に至ったものと推定される。	Ａ１	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2008/10/22	04 家具・住宅用品
2008-0819	2008/4/28	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９４５Ｌ	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約8年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2008/5/26	01 家庭用電気製品
A200800221	2008/4/27	厨房便座			2.重傷	当該製品を使用していたところ、太ももに火傷を負った。（事故発生地：高知県）		調査の結果、介護者は、短時間で当該製品に接触していた部分を火傷したとしているが、製品の温度制御に異常は認められず、誤作動をすることもなかったことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2008-0767)	2008/6/3	01 家庭用電気製品
A200800136	2008/4/26	温水洗浄便座	シャワートイレＨ１（（株）ＩＮＡＸブランド）	アイシン精機株式会社	11.火災	トイレより出火しているのを発見し消火した。本体の一部及び延長コードが焼損した。		事故原因は、便座ヒンジピンが脱落した状態で使用したために、便座電気コード取付け部に余計な負荷が加わったことにより、便座電気コードが断線し、出火に至ったものと考えられる。	－ －	事故に至った製品は１８年以上の長期間使用されていたものであり、便座が腰まらないなどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社ＩＮＡＸは、事故の再発防止の観点から、平成２０年１１月２６日プレス公表、平成２０年１１月２７日（（株）ＩＮＡＸ）、平成２０年１２月３日（予定・アイシン精機（株））に新聞への広告を掲載して、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています	経済産業省　重大製品事故(2008-0680)	2008/5/7	01 家庭用電気製品
A200800091	2008/4/16	温水洗浄便座			11.火災	ビルのトイレに設置された当該製品のプラグが焼損する火災が発生した。（事故発生地：東京都）		調査の結果、プラグの差し込みが十分でなく、コンセントとプラグ本体との間に隙間があいている状態で、外部から何らかの伝導性の異物が隙間に入ったため、両プラグ刃間がショートしたものと判断した。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2008-0623)	2008/4/25	01 家庭用電気製品
A200800090	2008/4/15	温水洗浄便座			11.火災	当該製品が設置されていたトイレに行くと便が充満しており、操作部付近より出火した。（事故発生地：兵庫県）		調査の結果、長期間（２２年間）の使用により当該製品の操作部表面シートに割れや剥がれが生じ、洗浄剤等液体が侵入して洗浄機能が優れた状態のまま、便座ヒーター機能を使用し続けていたため、液体がコネクタ部にかかり、トラッキングが発生したものと判断した。	Ｅ２		経済産業省　非重大製品事故(2008-0622)	2008/4/25	01 家庭用電気製品
A200800280	2008/3/24	電気便座			2.重傷	当該製品を使用中に低温火傷を負った。（事故発生地：岩手県）		調査の結果、当該製品に異常は認められなかった。使用者が当該製品を使用中に意識を失い長時間接触していたため、低温火傷を負ったものと判断した。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2008-0667)	2008/6/13	01 家庭用電気製品
A200701031	2008/2/14	温水洗浄便座			11.火災	当該製品の電源プラグを差し込んでいるコンセント部周辺から発火したと思われる火災が発生した。（事故発生地：福島県）		調査の結果、当該製品の電源プラグとコンセント付近に水分や洗剤等が付着したことによるトラッキング現象と判断した。	Ｅ２		経済産業省　非重大製品事故(2007-6568)	2008/2/22	01 家庭用電気製品
2013-1727	2008/2/4	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ７４１	東陶機器（株）（現在：ＴＯＴＯ（株））	4.拡大被害	温水洗浄便座の熱交換器に亀裂が入って漏水し、漏電した。	約10年	漏電・伸電した原因は、事故品の調査を行えなかったことから、特定できなかったが、温水タンクに亀裂が入ったため、漏水して電気部品が故障したものと推定される。	Ｇ３	製造事業者は、発火に至っていないことから、措置はとらなかった。なお、当該製品は既に生産を終了している。ＮＩＴＥは、引き続き同種の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。	国の行政機関	2013/10/4	01 家庭用電気製品
2007-5876	2008/1/17	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９４５Ｌ	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座付近から発煙し、樹脂部分の一部が変形、変色した。	約7年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2008/1/30	01 家庭用電気製品
A200700875	2008/1/11	温水洗浄便座	ＴＣＦ６３１	ＴＯＴＯ株式会社	11.火災	便の異臭に気がつきトイレを確認すると、当該製品が焼損していた。その際、家人が軽い火傷を負った。（事故発生地：熊本県）		調査の結果、当該製品は焼損が著しく、詳細な調査ができなかったため、出火元かどうか、原因の特定には至らなかった。なお、同型式で同様な事故は起きていない。	－ －	これまで同一機種による類似事故の発生がないことから、引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2007-5870)	2008/1/24	01 家庭用電気製品
2007-7131	2008/1/9	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７０　＃ＳＳ４	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から黒煙が出た。	約9年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	２００７（平成１９）年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付するなど捕捉に努め、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2008/3/24	01 家庭用電気製品
A200800213	2008/1/8	厨房便座	SW-3	西部ダイワ工業株式会社	11.火災	当該製品と周辺の壁等が焼損した。（事故発生地：鹿児島県）		調査の結果、当該製品の回収された部品から発火の痕跡は認められないものの、焼失している部品があり、出火元及び原因の特定には至らなかった。	－ －	引き続き同種の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	経済産業省　重大製品事故(2008-0937)	2008/5/30	01 家庭用電気製品
2007-5722	2008/1/7	温水洗浄便座【温水洗浄便座】	ＤＬＳ－６４－ＢＧ	アサヒ衛陶（株）	5.製品破損	温水洗浄便座からプラスチックが溶けるようなにおいがした。	不明	フィルムコンデンサーのはんだ付け部に不良があったため、はんだクラックが生じて接触不良となり、異常発熱して焼損し、異臭がしたものと推定される。	Ａ２	他に同種事故発生の情報がなく、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター	2008/1/23	01 家庭用電気製品
2007-4819	2007/11/26	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５　＃ＳＣ１	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座が焦げて、発煙した。	約8年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/12/10	01 家庭用電気製品
2007-4818	2007/11/15	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９６５Ｌ	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約7年8月	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/12/10	01 家庭用電気製品
A200700599	2007/11/6	温水洗浄便座	ＣＷ－Ｃ２Ｆ（（株）ＩＮＡＸブランド）	アイシン精機株式会社	11.火災	家人が異臭に気づき、トイレを見たところ出火していた。		事故原因は、便座固定用ゴム台が外れ、便座ヒンジ部が破損したまま使用を継続したために便座電気コード取付け部に余計な負荷が加わったことにより、便座電気コードが断線し、出火に至ったものと考えられる。	－ －	事故に至った製品は１８年以上の長期間使用されていたものであり、便座が腰まらないなどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社ＩＮＡＸは、事故の再発防止の観点から、平成２０年１１月２６日プレス公表、平成２０年１１月２７日（（株）ＩＮＡＸ）、平成２０年１２月３日（予定・アイシン精機（株））に新聞への広告を掲載して、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています	経済産業省　重大製品事故(2007-4438)	2007/11/13	01 家庭用電気製品
2007-6318	2007/10/21	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ４７０　＃ＳＳ４	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約13年	長期使用（約１３年以上）により、当該品のコントローラー基板上のリレー回路を構成しているコンデンサー及び抵抗がショートしたため、温風モーターが回転しない状態で温風ヒーターに通電されて、温風ダクトが加熱され発煙したものと推定される。なお、事故品は安全装置（温度ヒューズの溶断）が作動して、温風ヒーターへの通電は遮断されていた。	Ｃ１	温風ヒータに取付られた温度ヒューズによって、通電は遮断されれ大被害に至る可能性は低いことから措置はとらなかった。	製造事業者	2008/2/18	01 家庭用電気製品
2007-4238	2007/10/18	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５　＃ＳＧ６	東陶機器（株）	5.製品破損	暖房便座から焦げ臭いにおいがした。	約8年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付するなど捕捉に努め、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/11/5	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
2007-4237	2007/10/17	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７０　＃ＳＣ１	東陶機器（株）	5.製品破損	暖房便座から焦げ臭いにおいがした。	約6年10月	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付するなど捕捉に努め、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/11/5	01 家庭用電気製品
A200700650	2007/9/27	温水洗浄便座			11.火災	店舗に設置された当該製品が燃えているのを発見した。（事故発生地：秋田県）		調査の結果、製品内部からの発火の痕跡は認められなかった。	Ｆ２		経済産業省　非重大製品事故(2007-4706)	2007/11/27	01 家庭用電気製品
2007-3705	2007/9/11	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５Ｌ　＃ＳＲ２	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約5年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/10/9	01 家庭用電気製品
2007-3181	2007/8/9	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９６０　＃ＳＣ１	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約7年5月	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/8/31	01 家庭用電気製品
2007-2603	2007/7/21	暖房便座【電気便座】			6.被害なし	電気便座を低温設定にして使用していたところ、便座が異常に熱くなった。	約7年	事故品の各設定温度で便座表面を確認したところ火傷が生じるような高温には至らず、内部の制御基板にも発熱した痕跡は確認されなかったことから、原因は特定できなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター	2007/7/27	01 家庭用電気製品
2007-2245	2007/6/26	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	家に入ったら、焦げ臭いにおいがし、２階のトイレの温水洗浄便座のノズルの先端が黒く焦げていた。	約5年	焼損部に電気部品等はなく内部から発火した痕跡は確認できなかったことから、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故品原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター	2007/7/11	01 家庭用電気製品
2007-2376	2007/6/18	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	掃除のため温水洗浄便座の便座を上げたところ、便座と本体を接続する配線部分から「パチッ」と音がして発煙した。	約19年	当該品の便座固定部（２箇所）の右側ヒンジピンが折れて抜けたため、左側便座固定部に使用者の着座時の応力が集中し、固定部内の便座コードが機械的ストレスを受けて断線・スパークし、発煙したものとみられるが、折れたヒンジピンは紛失しており、欠落点についても不明であるため、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター	2007/7/23	01 家庭用電気製品
2007-2410	2007/6/15	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７０Ｌ　＃ＳＲ２	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約5年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響によって基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/7/25	01 家庭用電気製品
A200700184	2007/6/15	温水洗浄便座	ＣＷ－５３１（株式会社ＩＮＡＸブランド）	アイシン精機株式会社	11.火災	トイレからの異音に気づき、家人がトイレを確認したところ、ぼやを発見し、消火した。		事故原因は、長期間使用されていた当該製品の便座電気コードが断線したことにより出火に至ったものであるが、便座電気コードが断線に至った原因については特定されていない。	－－	事故に至った製品は１８年以上の長期間使用されていたものであり、便座が腐ったりないなどの不具合がある状態で使用を続けていて事故に至っています。製造事業者であるアイシン精機株式会社及び販売事業者である株式会社ＩＮＡＸは、事故の再発防止の観点から、平成２０年１１月２６日プレス公表、平成２０年１１月２７日（（株）ＩＮＡＸ）、平成２０年１２月３日（予定・アイシン精機（株））に新聞への広告を掲載して、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています	経済産業省　重大製品事故(2007-2120)	2007/6/25	01 家庭用電気製品
2007-1949	2007/6/9	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			5.製品破損	洗浄付き便座のノズルが溶けていた。	約4年	ノズル及びその周辺部しか焼損しておらず、焼損している箇所に火元となりえる電気回路がないことから、製品からの出火ではないものと推定される。	Ｆ２	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2007/6/22	01 家庭用電気製品
2007-1980	2007/5/14	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７０Ｌ	東陶機器（株）	5.製品破損	電気便座付近から異臭がするので、内部を確認したところ、発煙した形跡があった。	約5年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/6/25	01 家庭用電気製品
2007-1560	2007/4/28	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９６５	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約5年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、新聞の折り込み広告の配布及びユーザーにＤＭを送付し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/6/12	01 家庭用電気製品
2007-0500	2007/3/25	温水洗浄便座【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座の具合が悪いので取り外して、電源コンセントを入れたままにしていたところ、異臭がして発煙した。	約3年	被害者が事故品の水を抜き、取り外して立てたままの状態で電源コンセントを入れたために、温水タンクの水位を検出するフロートスイッチが入った状態になった。そのために、温水用ヒータが通電状態になり、その過熱により温水ヒータの取付部分が溶解し異臭及び発煙に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「必ず差込みプラグを抜いてから手入れする。」旨記載されている。	Ｅ２	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	消費者	2007/5/7	01 家庭用電気製品
2007-0402	2007/3/20	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５Ｌ　＃ＳＣ４	東陶機器（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座の外郭の一部が焼損して変形し、壁に煤がついた。	約7年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/4/24	01 家庭用電気製品
2007-0405	2007/3/17	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９６５Ｌ	東陶機器（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座から発煙して外郭右側の一部が変形し、内部のコントローラーの一部が焼損した。	約5年7月	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/4/24	01 家庭用電気製品
2007-0912	2007/3/1	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＶ－２１５	（株）ＩＮＡＸ	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、発煙した。	約2年8月	洗浄用ポンプのパッキンに異物が噛み込む等により漏水が発生したため、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	Ａ２	拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品については措置はとらなかった。なお、今後は製造作業をクリーンルームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置（電源ヒューズ）を追加した。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2007-0401	2007/3/1	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９６５ＨＹ　＃ＳＲ２	東陶機器（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座の右側部から発火して外郭の一部を焼損し、壁の一部が黒く変色した。	約6年	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/4/24	01 家庭用電気製品
2007-0403	2007/2/27	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５Ｌ　＃ＮＧ２	東陶機器（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座から発火して内部が溶解し、壁に煤がついた。	約6年1月	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/4/24	01 家庭用電気製品
2006-3477	2007/2/15	暖房便座【電気便座】			4.拡大被害	木造平屋住宅から出火し全焼した。トイレの焼損が著しかった。	不明	暖房便座の電源はＯＦＦの状態であり、温度コントローラーや電源コード等に発火の痕跡がみられなかったことから、製品に起因する事故ではないものと推定される。	Ｆ２	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関	2007/2/20	01 家庭用電気製品
2007-0911	2007/2/14	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＶ－２１５	（株）ＩＮＡＸ	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約2年6月	洗浄用ポンプのパッキンに異物が噛み込む等により漏水が発生したため、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	Ａ２	拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品については措置はとらなかった。なお、今後は製造作業をクリーンルームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置（電源ヒューズ）を追加した。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2007-0910	2007/1/27	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＶ－２１６	（株）ＩＮＡＸ	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙し、本体が変形した。	約2年7月	洗浄用ポンプのパッキンに異物が噛み込む等により漏水が発生したため、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	Ａ２	拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品については措置はとらなかった。なお、今後は製造作業をクリーンルームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置（電源ヒューズ）を追加した。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2006-3092	2006/12/31	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			4.拡大被害	温水洗浄便座が焼けて溶け、トイレ内が煤で黒くなった。	約9年	焼損状態から暖房便座付近より出火したと考えられるが、焼損が著しく、残存していた制御基板、電源トランス等の電気部品から出火元となる痕跡は認められず、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者	2007/1/31	01 家庭用電気製品
2007-0909	2006/12/27	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＴ－２８７	（株）ＩＮＡＸ	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、本体の部屋暖房吹き出し口が溶融した。	約2年7月	部屋暖房用のファンに埃が詰まり風量が低下したため、温風の温度が上昇し吹き出し口が溶融したものと推定される。	Ａ１	他に同種事故は発生しておらず、また、拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品については措置はとらなかった。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、吹き出し口に安全装置（サーミスタ）を追加している。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2007-0554	2006/12/26	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ４３１＃ＳＲ２	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の電源プラグをコンセントに差したところ、便座から発煙と異臭がした。	約15年10月	長期使用（約１５年１０ヶ月）により、コントローラ基板上のスイッチング素子が熱ストレス等により内部短絡し、発熱・発煙したものと推定される。	Ｃ１	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故は発生しておらず、異常時には安全装置により通電を遮断することから、拡大被害に至る危険性が低いため、措置はとらなかった。なお、当該品の製造は既に終了している。	消費者	2007/5/8	01 家庭用電気製品
2007-0908	2006/12/6	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＶ－２１６	（株）ＩＮＡＸ	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約2年6月	洗浄用ポンプのパッキンに異物が噛み込む等により漏水が発生したため、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	Ａ２	拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品については措置はとらなかった。なお、今後は製造作業をクリーンルームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置（電源ヒューズ）を追加した。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
2007-0404	2006/12/5	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９６０Ｌ　＃ＳＣ１	東陶機器（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座から発煙し、変形した。	約6年4月	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/4/24	01 家庭用電気製品
2007-0907	2006/11/21	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＤＶ－２１５	（株）ＩＮＡＸ	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、発煙した。	約2年2月	洗浄用ポンプのパッキンに異物が噛みこむ等により漏水が発生したため、ポンプモーターが腐食し固着した際に、制御基板にモーターの過電流が流れて駆動素子が異常発熱し、部分的に焦げたものと推定される。	Ａ２	拡大被害に至る可能性が低いことから、既販品については措置はとらなかった。なお、今後は製造作業をクリーンルームで行うこととし、さらに異物混入が発生した場合に備えて、本体に安全装置（電源ヒューズ）を追加した。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2007-0906	2006/9/20	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＷ－１０１（ブランド（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、本体の一部が焼損した。	約14年	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページ及び１１月２７日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、ＤＭを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2006-1002	2006/7/6	温水洗浄便座【温水洗浄便座】			1.軽傷	温水洗浄便座を使用中に洗浄ボタンを押したところ、熱湯が出て肛門に火傷を負った。	約2年8月	内部に異常は確認できず、正常に作動し、機械式の安全装置も正常に作動することから、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、今後開発していく商品に関して、安全性向上を目的として更なる製品改良・品質改善の検討に取り組む。	消費者センター	2006/8/7	01 家庭用電気製品
2006-0718	2006/6/27	暖房便座【電気便座】			4.拡大被害	暖房便座から発煙し、焼損した。その際、便器が破損するとともに、周囲の壁が煤けた。	約4年6月	便座のヒータースイッチは「ＯＦＦ」となっており、電源コードの溶融痕を解析した結果は二次損である可能性が高く、本体の焼損が著しいことから、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関	2006/6/27	01 家庭用電気製品
2006-1072	2006/6/10	温水洗浄便座【電気便座】			4.拡大被害	病院内の男子トイレから出火し、温水洗浄便座の先端と便ふたの中央にかけて焼損した。	約3年6月	本体外郭樹脂の焼損が著しいものの、ヒーター線、制御基板、モーター等の電気部品に異常はなく、発火の痕跡は認められず、安全装置（温度ヒューズ）は作動していなかったことから、製品に起因する事故ではないものと推定される。	Ｆ２	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	警察機関	2006/8/17	01 家庭用電気製品
2007-0905	2006/5/2	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＷ－５３０（ブランド（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	3.軽傷	温水洗浄便座とトイレ内が焼損した。	約17年	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページ及び１１月２７日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、ＤＭを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2006-0161	2006/3/23	温水洗浄便座【電気温水器】			4.拡大被害	トイレのコンセント付近から発煙。温水洗浄便座の漏電遮断機付き電源プラグと壁面コンセントが焼損し、壁の一部を焦がした。	約2月	当該機の電源プラグ部分の焼損が著しく、両極刃とも溶断していたこと、またプラグ部分から塩素成分が検出されたことから、塩素を含む物質がプラグに付着し、トラッキング現象が発生した可能性が考えられるが、使用状況等が不明であることから、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者	2006/4/13	01 家庭用電気製品
2007-0400	2006/3/9	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ９７５Ｌ	東陶機器（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座の外郭の一部が焼損し、トイレ全体に煤がついた。	約5年11月	コントローラー基板上の温水ヒーター用コネクター接続部において、ある期間の部品メーカー製コネクターがメッキ不良を起こしやすい製品であったため、使用中の熱衝撃及び振動によりメッキが剥がれてコネクター部分が接触不良となり発熱し、発熱の影響により基板とのはんだ付け部で、はんだクラックを生じ、火花・発熱により基板が炭化し絶縁不良となり、異極間でスパーク・発火したものと推定される。	Ａ２	平成１９年４月１７日付けの新聞及びホームページに社告を掲載し、無償で修理・点検を行っている。	製造事業者	2007/4/24	01 家庭用電気製品
2007-0904	2006/2/25	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座が焼損した。	約17年	事故品の事故部位を入手できないことから、調査できなかった。	Ｇ２	事故品の事故部位が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとれなかった。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2006-1666	2006/1/16	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			4.拡大被害	温水洗浄便座周辺から出火し、木造２階建て住宅約１５０平方メートルを全焼した。	約7年7月	当該機の残存している部品には異常発熱した痕跡は認められず、焼損が著しいため、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者	2006/10/23	01 家庭用電気製品
2005-1659	2005/12/9	温水洗浄便座【電気便座】	シャワートイレＦⅢ	アイシン精機（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座から発煙し、便座部分が焼損した。なお、前日に便座スイッチを入れたが、事故当日は冷たかった。	約17年	便座取付部分の電源リード線が断線しており溶融痕が認められたことから、長期使用（約１７年）により、当該部分で便座開閉時の繰り返し屈曲による機械的ストレスを受け、リード線の芯線部分が半断線状態となり、短絡・スパークし、周辺樹脂に着火・延焼したものと推定される。	Ｃ１	当該品は既に生産を終了しており、経年劣化とみられる事故であるため、措置はとらなかった。なお、平成２年以降に販売している後継機種は、リード線部分に屈曲応力が掛からない構造に変更している。	消防機関	2005/12/16	01 家庭用電気製品
2007-3635	2005/12/7	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			4.拡大被害	温水洗浄便座が燃えて、小火になった。	約10年2月	便座の中央部が焼損していることから、発火元の可能性が高いと考えられるが、発火元となる痕跡は確認できず、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	消費者センター	2007/10/2	01 家庭用電気製品
2005-0880	2005/8/7	温水洗浄便座【電気温水器】			5.製品破損	電気製品量販店の１階トイレ内から出火し、温水洗浄便座の本体右上方の一部が溶けた。	不明	事故品の内部が異常に錆びており、トイレ用の酸、アルカリ性の洗浄剤のような強いにおいがしたことから、酸、アルカリ性の洗浄剤が使用されたことで、気化したガス等の影響で金属部分に異常な錆びが発生し、温度過熱防止サーモの端子接続部で接触抵抗が増大して過熱し、本体ケースに穴が開き、さらに洗浄剤の水分等が本体内部に浸入し、温度過熱防止サーモの端子間でトラッキング現象を起こし、発火したものと推定される。	Ｅ１	消費者の誤使用とみられる事故であるため、措置はとらなかった。なお、取扱説明書には、酸・アルカリ性の洗浄剤は本体内の金属部分などを腐食させるので使わないよう記載している。	製造事業者	2005/8/25	01 家庭用電気製品
2005-0843	2005/8/3	温水洗浄便座【電気便座】			4.拡大被害	温水洗浄便座が一部焼損し、トイレ室内が黒く汚損した。	約15年	本体内部のプリント基板の底部に汚水等がたまった痕跡があるものの、完成品では水が浸入する部分がないことから、上ケースにひび割れや操作鈑板の割がれが発生し、その部分から清掃時の洗剤等が浸入し、内部のリード線を伝ってプリント基板のトライアックリード部でトラッキング現象が発生し、発熱、発火した可能性が考えられるが、上ケース上面の焼損が著しく、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者	2005/8/18	01 家庭用電気製品
2004-2220	2004/12/17	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】	ＴＣＦ４７０＃ＳＣ１	東陶機器（株）	5.製品破損	集合住宅の４階の一室に設置された、洗浄乾燥機能付き暖房便座のコントローラー部品の一部が焼損した。	約10年	コントローラー基板のソリッド・スケート・リレーが焼失しており、焦げの状況から当該部のはんだ付不良によるものと推定される。	Ａ２	当該品は既に生産を終了しており、他に同種事故が発生していないことから、措置はとらなかった。なお、現行生産品においては、コントローラーのはんだ工程の品質管理の強化を図った。	消防機関	2005/1/25	01 家庭用電気製品
2007-0903	2003/12/16	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＷ－１００（ブランド（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙し、便座コードの一部が焦げた。	約8年	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページ及び１１月２７日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、ＤＭを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2003-1353	2003/12/11	暖房便座【電気便座】			3.軽傷	木造平屋建て住宅のトイレから出火、約８５平方メートルを全焼し、さらに隣接する木造２階建て住宅約６０平方メートルを半焼し、１名が顔などに軽い火傷を負った。	不明	消防の調査では、簡易水洗浄式暖房便座の温度制御コントローラーに接続するヒーター線が絶縁劣化したため、発熱・発火し、便座及び便座カバーに延焼、火災に至ったものとみているが、住居は借家であり、被害者は入居時から暖房便座の異常（便座温度が異常に高い状態）を知りつつ、そのまま使用を継続していた。	Ｅ２	製造業者等は不明であり、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構	2003/12/19	01 家庭用電気製品
2007-0902	2003/9/28	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	Ｈ１（ブランド（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の一部が焼損した。	約16年	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページ及び１１月２７日付け新聞に「便座が暖まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、ＤＭを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2003-0679	2003/7/10	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】			5.製品破損	トイレの便座から発火し、トイレ内に煙が充満した。	約15年	被害者は、事故発生以前から器具各部の異常（洗浄機能の故障、消臭機能の故障、異音）を知りながら使用を継続していたことにより、器具内部電磁弁等の水系統に水漏れが生じ、制御基板に水が付着したために誤動作が発生し、消臭用モーターが長時間連続通電され続け、モーターコイルがレアーショートし、器具を焼損したものと推定される。	Ｅ１	被害者の誤使用とみられる事故であるため、特に措置はとらなかった。	製造事業者	2003/8/8	01 家庭用電気製品
2003-0486	2003/6/9	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】	ＴＣＦ７４１	東陶機器（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座を使用し１０分ほど経過したところ、本体内部から発煙、出火しているのに気付き、便器内の水をかけて消火した。	約6年11月	ＡＣ基板及び便座中央部ノズル付近に焼損箇所が認められ、ＡＣ基板については、温水ヒーター電源用コネクタの基板取付部のはんだ付け不良（クラック等の発生）があり、当該箇所でアークを生じ、基板内のポリウレタン充填剤及び基板ケースに着火したものと推定される。温水便座中央部ノズル付近については、電装部品であるモーターに発火の痕跡はなく、ＡＣ基板からの延焼についても再現せず、原因の特定はできなかった。	Ａ２	はんだ工程の品質管理の強化を図った。	消防機関	2003/7/4	01 家庭用電気製品
2007-0901	2003/1/1	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がして発煙し、本体が焼損した。	約14年	当該機の本体と便座を接続する便座コードが損傷し、反等が付着したためトラッキング現象が発生し、発煙した可能性が考えられるが、再現することができず、コードが損傷した状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、便座コードが外部に露出しない構造に変更している。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2002-1991	2002/12/31	温水洗浄便座【電気便座】			4.拡大被害	温水洗浄便座の本体中央部とふたが焼け、トイレ内の壁がすすけた。	不明	消防の調査では、焼損状況から便座の可動部より出火し、便座ふた、本体フレームに延焼したものとみているが、便座可動部のリード線（脚用用モーター線）には異常がみられず、発火源は便座本体外部からと考えられるが、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製造事業者	2003/3/13	01 家庭用電気製品
2002-1095	2002/10/22	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】			5.製品破損	トイレで「パチ・パチ」と音がするので見に行くと、温水便座のノズル付近から２０～３０cmの炎が上がっていた。	約4年	本体内部のヒーター、モーター、配線類の電気部品に、断線や接触不良等の異常および発火の痕跡はみられず、焼損した樹脂パーツを交換したところ正常作動することから、製品からの出火ではないものと推定される。	Ｆ２	製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2002/11/19	01 家庭用電気製品
2001-0165	2001/1/11	温水洗浄便座【電気便座】			4.拡大被害	「パチ・パチ」という物音に気付き、トイレを見たところ、温水洗浄便座が発火していたので、台所の食器洗い桶を使い、水で消火した。	約12年	温水洗浄便座の温水ノズル先端付近から開焼したものと考えられるが、当該箇所には電装部品等が無く、発火した痕跡が認められないためこたから、製品に起因する事故ではないものと推定される。	Ｆ２	製品に起因しない事故であるため、特に措置はとらなかった。	国の行政機関	2001/5/8	01 家庭用電気製品
2007-0900	2000/6/16	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座から発煙し、本体の一部が焼損した。	約11年	当該品は平成３年に修理履歴があり、内部配線が正規の長さ以上で修理されていたため、正規の位置に収まらずベースカバーとベースプレート間に配線を挟み込んでいたことから、断線し発熱したものと推定される。	Ｄ２	メンテナンス会社に対し、正規の修理を徹底するよう、修理方法の指導を実施した。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
2007-0899	2000/2/22	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	Ｈ１Ｎ（ブランド（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座から異臭がして、本体の一部が焼損し、煤でトイレの内壁などを汚損した。	約12年	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページ及び１１月２７日付け新聞に「便座が寝まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、ＤＭを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2007-0898	2000/2/10	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	Ｈ１（ブランド（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、本体の一部が焼損した。	約10年	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページ及び１１月２７日付け新聞に「便座が寝まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、ＤＭを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2007-0897	2000/1/30	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＩＮＡＸシャワートイレ　ＣＷ－７４１	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の一部が焼損した。	約3年6月	コントロール基板とリード線のはんだ付け不良（追いはんだの不良）によって接触不良となり、発熱・発火したものと推定される。	Ａ２	他に同種事故は発生しておらず、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、作業者に追いはんだ付けに係る再教育を実施した。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2000-0407	2000/1/24	温水洗浄便座			4.拡大被害	被害者が「パーン」という音と握に気付き、トイレの蓋を開けたところ、トイレ室内が燃えていた。トイレ隣の洗面所からバケツ３杯の水をかけたが、火勢が衰えなかったため、消防に通報した。	約3年6月	事故品の基板部、便座などー部が焼損又は紛失しており、入手した部品からは出火したとみられる痕跡がなかったため、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製造事業者	2000/8/16	01 家庭用電気製品
1999-0927	1999/12/31	温水洗浄便座			3.軽傷	温水洗浄便座の本体左側の電気コードに芯線の欠損、スパーク痕等が多数みられたことから、本体左側付近から出火したものと推定されるが、トラッキングの痕跡等がなく、他の部分に関しても発熱痕跡等の事故原因となる事象を確認できず、事故原因を特定できなかった。	約2年2月	温水洗浄便座の本体左側の電気コードに芯線の欠損、スパーク痕等が多数みられたことから、本体左側付近から出火したものと推定されるが、トラッキングの痕跡等がなく、他の部分に関しても発熱痕跡等の事故原因となる事象を確認できず、事故原因を特定できなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製造事業者	2000/2/10	01 家庭用電気製品
1999-0698	1999/12/26	温水洗浄便座	ウォシュレットＧⅡ　ＴＣＦ７５０＃ＳＣ１	東陶機器（株）	5.製品破損	保温便座が異常音を生じて発煙し、発火した。火がすぐ消えたために拡大被害はなかった。	約4年	コントローラに搭載している温水コネクターのはんだ部分が焼損していることから、はんだ量が少なかったために、通電時に発生する熱の影響ではんだ部に亀裂が入り、半断線状態で徐々に加熱されて基板の焦げが進み発煙・発火したものと推定される。	Ａ２	当該製品は、現在製造中止であり、回路の周囲に可燃物が無く拡大被害の可能性が低いことから、特に処置はしない。なお、現行生産品においては、コントローラのはんだ行程の品質管理の強化を図った。	消費者センター	2000/1/17	01 家庭用電気製品
1999-0549	1999/8/22	温水暖房便座			4.拡大被害	トイレの温水暖房便座から発火していたので、消火器で消火した。なお、４日前に家人がトイレを掃除した際、温水暖房便座から少し煙が上がったことを確認している。	約13年8月	便座暖房用ヒーター線が断線しており、当該断線部から洗剤の成分が検出されたこと、及びヒーター線の一本が異常に腐食していることから、掃除時の水抜け又は便座ヒーター線被覆の傷付けなどによるヒーター内部への水及び洗剤の浸入により、ヒーター線が腐食し、便座開閉時の屈曲により断線が生じ、断線間が発熱し、当日に着火・出火したものと推定されるが、ヒーター線内に水が浸入した原因は特定できなかった。	Ｇ１	水の浸入による経年劣化事故であり、水の浸入の原因が不明だが、特に措置はとらなかった。なお、平成２年以降の製品は、ヒーター線をヒンジ内部に通し、便座開閉時の屈曲応力がかからないようにするとともに、外部露出部がない構造に変更している。	製造事業者	1999/11/29	01 家庭用電気製品
2007-0896	1999/7/9	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＷ－５３０（ブランド（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の一部が焼損した。	約10年	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページ及び１１月２７日付け新聞に「便座が寝まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、ＤＭを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
2006-3893	1999/4/26	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】	ウォシュレットＳ（ＴＣＦ６２１）	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の便座表面の一部が焦げた。	約2年10月	製造時の暖房便座用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に傷の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	Ａ２	当該品は既に販売を終了しており、当該事故はいずれも製造後３年以内に発生していること、その後現在までに事故の報告はないことから、措置はとらなかった。なお、カシメ加工時の強度向上及び被覆除去時の芯線への傷つきを防止するため、内部配線を単線からより線に変更した。	製造事業者	2007/3/19	01 家庭用電気製品
1999-0337	1999/4/2	温水洗浄便座			4.拡大被害	トイレから異煙が出ているのを発見し、消火するとともに消防署へ通報した。すずにより、トイレ内を汚損した。	約18年	事故品は使用開始後１８年を経過し、熱交換器からノズルへの給水ホース部にクラックが発生し漏水したため、１００Ｖ充電部のバイメタルＳＷ部を腐食させ、発火に至ったものと推定される。なお、被害者は半年前から漏水に気付いていたが、ヒーター機能に異常がないため、水受けを置いて使用していた。	Ｅ１	被害者の誤使用とみられる事故であるため、特に措置はとらなかった。	製造事業者	1999/8/12	01 家庭用電気製品
1999-0336	1998/10/21	温水洗浄便座			4.拡大被害	便座から出火しているのを発見し、消防署へ通報するとともに、家族で消火した。トイレの天井や壁が、すすで汚損した。	約10年	事故品の便座及び便蓋がほぼ完全に焼失していたこと、コントローラ上部の焼損度が比較的大きく、他のユニットの焼損はかさいことから、発火源は便座部又はコントローラ部からと推測し、過酷な条件設定による試験を行ったが、便座部及びコントローラ部からの発火は確認できなかったため、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製造事業者	1999/8/12	01 家庭用電気製品
1998-0643	1998/10/9	温水洗浄便座	Ｇα－ＴＣＦ４７０	東陶機器（株）	5.製品破損	使用中に焦げ臭いにおいがした後、使用不能となった。内部を観察すると、乾燥装置の温風ダクト樹脂部が溶融し、穴が開いていた。	約4年	ＳＳＲ（制御部分）のコンデンサの短絡により、温風ヒータ及び温水ヒータが連続通電状態となった。それによって、温風ダクトが加熱され、安全装置である温度ヒューズが作動し、ヒータへの通電が遮断されたが、その際に断熱材周部の温風ダクト樹脂部が一部溶融し異臭が発生した。温水ヒータも連続通電状態となったため、安全装置であるバイメタルが作動し、製品への通電が遮断され、使用不能となったものと推定される。	Ａ３	同型品については既に製造を終了しており、同種品については部品メーカーの変更、コンデンサーの検査体制の強化など品質管理を強化した。また、平成７年３月以降の同種品については、コンデンサーの短絡などの不都合が生じても温風ダクト樹脂部に穴が空かないよう断熱材の大きさを大きくし、樹脂が溶ける温度以前にヒーターの電源が切れるように仕様を変更した。	消費者センター	1998/11/11	01 家庭用電気製品
1998-0621	1998/7/28	温水洗浄便座			5.製品破損	温水洗浄便座が作動しないので、メーカーに連絡し、修理に来てもらったが部品の持ち合わせがないため、後日再修理することになった。翌朝、トイレからプラスチックが焦げたようなにおいがし、操作部を触ってみると発熱しており、周辺には焦げ目がついていた。	約2年	流量調整モーターが故障したが、修理業者が設計変更された制御基板等モーター以外のものを交換したところで修理を中断、電源を切らずに放置したため、制御基板上の流量調整モーター駆動用のＩＣに過大な電流が流れ、破壊した際に短絡し、ＩＣが連続加熱したことにより、周辺の樹脂を溶融させるとともに操作部の発熱に至ったものと推定される。	Ｄ２	品質管理の強化及びメンテナンス修理者の教育の徹底を図った。	国の行政機関	1998/10/30	01 家庭用電気製品
1997-0656	1997/9/13	暖房便座			4.拡大被害	自宅のトイレから発煙しているのを発見し、タオルを用いて消火した。	約6年6月	暖房便座のヒータにつながるリード線の被覆に傷がつき、水、洗剤によってリード線が腐食し、便座の開閉により断線したため、トラッキング現象により発火したものとみられるが、いつの時点で傷がついたのか等、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明のため、措置はとれなかった。なお、設計強度上センサー線がヒータ線より先に断線し、ヒータ線が効かないようにしている。	製造事業者	1997/11/14	01 家庭用電気製品
2006-3892	1997/6/18	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】	ウォシュレットＳ（ＴＣＦ６１０）	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の便座表面の一部が焦げた。	約7月	製造時の暖房便座用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に傷の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	Ａ２	当該品は既に販売を終了しており、当該事故はいずれも製造後３年以内に発生していること、その後現在までに事故の報告はないことから、措置はとらなかった。なお、カシメ加工時の強度向上及び被覆除去時の芯線への傷つきを防止するため、内部配線を単線からより線に変更した。	製造事業者	2007/3/19	01 家庭用電気製品
1997-0185	1997/4/21	暖房便座			4.拡大被害	トイレから出火し、暖房便座と扉の一部を焼いた。	約2年8月	事故品が入手できなかったため、同等品を用いて電気用品取締法の技術基準による安全性の確認及び市販の塩素系洗剤を用いた場合の便座内部への水の浸入による発煙等の異常の発生を中心にテストを実施したが、特に異常は見られず事故原因の特定はできなかった。また、約２年８ヶ月の使用期間の間による腐食性ガスの影響についても確認できなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、特に措置はとれなかった。	製品評価技術基盤機構	1997/6/17	01 家庭用電気製品
2006-2404	1997/1/11	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】	ウォシュレットＳＩＩ（ＴＣＦ６２０）	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の便座の一部が焦げており、トイレに煙が充満していた。	約5月	製造時の暖房便座用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に傷の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	Ａ２	当該品は既に販売を完了しており、単品不良と見られる事故であることから、措置はとらなかった。なお、カシメ加工時の強度向上のため、内部配線を単線からより線に変更した。	消費者	2006/12/15	01 家庭用電気製品
2007-0895	1996/9/3	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＣＷ－１００（ブランド（株）ＩＮＡＸ）	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がし、本体の一部が焼損した。	約7年	当該機の本体と便座を接続するコードが損傷し、焼損した可能性が考えられるが、コードが損傷した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	２００８（平成２０）年１１月２６日付けホームページ及び１１月２７日付け新聞に「便座が寝まらないなどの不具合がある状態で使用を続けると事故に至る可能性がある。」旨告知を掲載するとともに、ＤＭを送付して注意喚起を行い、対象製品の不具合確認を無償で実施している。なお、温水洗浄便座協議会では、２００８（平成２０）年１１月１７日付け新聞に事故防止のため告知を掲載するとともに、パンフレットを作成し、注意喚起を行っている。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品
1996-0235	1996/6/5	温水洗浄便座	ＴＣＦ－３３１	東陶機器（株）	5.製品破損	夜トイレに入ると、トイレの便座付近から煙が出ており、便座のコードの付け根部分が燃え、コードも溶けていた。	約8年	便座リード線接続端子部が洗浄剤や尿等の影響による腐食性のあるガスによって腐食し、リード線自体が劣化、半断線したことから、局部的に発熱し、リード線被覆が溶解すると共に、便座コードがショートし、発煙に至ったものと推定される。なお、便座コードは難燃グレードの材料を使用していることから、拡大被害に至る可能性は低い。	Ｃ１	経年劣化による事故であるため、特に措置はとらなかった。	消費者センター	1996/7/9	01 家庭用電気製品
2006-3891	1996/5/9	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】	ウォシュレットＳ（ＴＣＦ６１０）	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の便座表面の一部が焦げた。	約4月	製造時の暖房便座用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に傷の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	Ａ２	当該品は既に販売を終了しており、当該事故はいずれも製造後３年以内に発生していること、その後現在までに事故の報告はないことから、措置はとらなかった。なお、カシメ加工時の強度向上及び被覆除去時の芯線への傷つきを防止するため、内部配線を単線からより線に変更した。	製造事業者	2007/3/19	01 家庭用電気製品
2007-0894	1996/4/4	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＩＮＡＸシャワートイレ　ＣＷ５３１	アイシン精機（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から発煙した。	約5年	製造時の作業ミスにより、便座部分のリード線が便座からはみ出したまま挟み込まれたため、芯線が半断線状態となり、短絡・スパークし、発煙・焼損したものと推定される。	Ａ２	他に同種事故は発生しておらず、単品不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。なお、当該品は既に生産を終了しており、後継機種については、作業者にリード線挟み込み防止に係る再教育を実施するとともに、配線固定用テープ面積を拡大し、リード線が剥がれにくいものに変更している。	製造事業者	2007/5/22	01 家庭用電気製品

年度番号	事故発生日	品名	型式機種	事業者名	被害の種類	事故通知内容	製品の使用期間	事故原因	事故原	再発防止措置	事故通知者	事故受付日	品目
2006-3890	1996/2/17	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】	ウォシュレットＳ（ＴＣＦ６３０）	東陶機器（株）	5.製品破損	温水洗浄便座の便座表面の一部が焦げた。	約3月	製造時の暖房便座用内部配線のコネクター圧着作業時に、内部配線に傷の付いたものが混入したか、または締め付けが強すぎたため、当該部分で接触不良となり発熱し、便座の樹脂部分を焦がし、最終的に内部配線が断線したものと推定される。	Ａ２	当該品は既に販売を終了しており、当該事故はいずれも製造後３年以内に発生していること、その後現在までに事故の報告はないことから、措置はとらなかった。なお、カシメ加工時の強度向上及び被覆除去時の芯線への傷つきを防止するため、内部配線を単線からより線に変更した。	製造事業者	2007/3/19	01 家庭用電気製品
A202100584	2021/10/00	温水洗浄便座			2.重傷	施設で当該製品を使用中、火傷を負った。（事故発生地：福島県）		調査の結果、○当該製品の外観は、便座表面、裏面の外、内周部３箇所に亀裂が認められた。○便座内部は汚れやサーミスターリード線カシメ部の腐食があり、同部位でアンモニア性窒素の反応が認められた。○サーミスターの抵抗値は規格値から外れており、便座温度を測定した結果、仕様値より高温であった。○便座ヒーター線及び本体内部の基板等、その他の電気部品に異常は認められなかった。●当該製品は、介護施設において使用にともなう負荷による亀裂が生じたまま使用が継続されたため、便座亀裂部より浸入した尿成分等でサーミスターカシメ部が腐食し、サーミスターの抵抗値が規格値を外れたことで、使用時に便座の温度が仕様の設定温度より高温となり、火傷に至ったものと推定される。　なお、取扱説明書には、「故障（製品にひびや割れが入っている）したままで使い続けない。」旨、記載されている。	--		経済産業省　非重大製品事故(2021-2278)	2021/11/4	01 家庭用電気製品
2016-1455	2016/08/00	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】			6.被害なし	ネット通販で購入した温水洗浄便座が漏電していた。（事故発生地：三重県）	約5年	事故品に漏電を起こす異常は認められず、電源プラグに付属の漏電遮断器が作動した原因の特定はできなかった。	Ｇ１	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消費者センター	2016/10/28	01 家庭用電気製品
2010-2587	2010/08/00	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＳＸ　ＴＣＦ３４１	ＴＯＴＯ（株）	4.拡大被害	温水洗浄便座の操作部から液体が漏れ出し、床面を汚損した。	約20年	操作部内の基板に塗布された防水用ポッティング材（ポリウレタン樹脂製）が長期使用（２０年）により劣化・加水分解し、液状化して操作部から漏れ出たものと推定される。	Ｃ１	経年劣化による事故とみられ、他に同種事故発生の情報がないことから、措置はとらなかった。	消費者センター	2010/9/22	01 家庭用電気製品
2008-0288	2008/04/00	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】			5.製品破損	温水洗浄便座の便座部に接続した配線の一部が焼損した。	約12年	便座部に接続した配線が断線したことにより、スパークが発生し、被覆部が焼損したものと考えられるが、使用状況が不明であるため、原因の特定はできなかった。	Ｇ１	事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	消防機関	2008/4/15	01 家庭用電気製品
2009-1271	2008/00/00	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ７４１	ＴＯＴＯ（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から焦げ臭いにおいがした。	約10年	温水タンク部で漏水が生じたため、漏水により基板上にある電圧制御用ＩＣの端子間でショートし、抵抗に過電流が流れて異常発熱し、基板をコーティングしている防湿材が溶融したものと考えられるが、温水タンク部で漏水した原因の特定はできなかった	Ｇ３	拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター	2009/8/6	01 家庭用電気製品
2007-1365	2007/04/00	温水洗浄便座【自動洗浄乾燥式便器】【電気便座】	ＴＣＦ４７１　＃ＳＣ１	ＴＯＴＯ（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から煙が出た。	約13年	基板に取り付けられたヒューズ（リード線付き）のはんだ付部近傍のみ焼損していることから、はんだ付け不良のため、はんだクラックを生じて、接触不良となり異常発熱し発煙したものと推定される。	Ａ２	発熱、発煙のみで終息しており、拡大被害に至っていないことから、今後の発生状況を監視することとし、措置はとらなかった。	消費者センター	2007/6/1	01 家庭用電気製品
2007-3400	2007/03/00	温水洗浄便座【電気温水器】【電気便座】	ＴＣＦ９２０Ｆ　＃ＳＣ１	ＴＯＴＯ（株）	5.製品破損	温水洗浄便座から異臭がして、ブレーカーが落ちた。	約15年	長期使用（約１５年）により、コントローラ基板上のスイッチング素子が熱ストレス等により内部短絡し、ブレーカーが作動するとともにスイッチング素子が発熱・発煙して異臭がしたものと推定される。	Ｃ１	経年劣化による事故とみられ、異常時には安全装置により通電を遮断し、拡大被害に至る可能性が低いことから、措置はとらなかった。なお、当該品は既に生産を終了している。	消費者センター	2007/9/12	01 家庭用電気製品